LIXIL INAX

Shower toilet

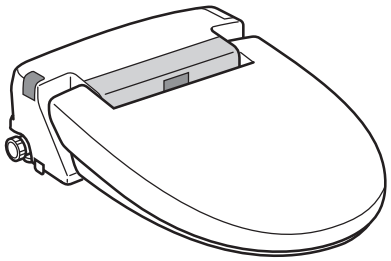
取扱説明書

保証書付（裏表紙）

定期点検情報掲載

シャワートイレ
PASSO［パッソ］

CW-E43 型・CW-E41 型・CW-E40 型
CW-E43Q 型・CW-E41Q 型
CW-E430 型・CW-E410 型



プラ
袋:PE

説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、
当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

転居される場合、
次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客様に必ずお渡しください。
また、定期的に点検が必要な部品があることをお客様に必ずお伝えください。

このたびは当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ
正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、
大切に保管してください。

もくじ

はじめに…… 1
各部のなまえ…… 2
安全上の注意…… 4
お取り扱い上の注意…… 7
お使いになる前に確認してください…… 8

ご使用方法
●リモコン本体…… 10
●ご使用前の準備（電源・温水・便座）…… 11
●基本機能の使いかた（おしり・ビデ洗浄）…… 12
（ワイド洗浄・洗浄位置）…… 13
（マッサージ洗浄）…… 14
（乾燥）…… 15
（脱臭）…… 16
●快適機能の使いかた（節電）…… 17
（フルオート便器洗浄）…… 18
（より快適な機能）…… 19
●知っておいていただきたいこと…… 21

お手入れ方法
●各部のお手入れ…… 23
●日頃のお手入れ…… 24
●便フタの外しかた（便フタまわりの隠れた部分のそうじ）…… 25
●リモコンの電池交換…… 27
●脱臭効果が弱くなった場合…… 28
●本体を浮かせて掃除します／お掃除スライドアップ…… 29
●本体を外して掃除します／本体スライド着脱…… 31
●シャワーが弱くなってきたなと思ったら…… 33
●電源プラグの点検…… 34
●定期的な点検のお願い…… 34

長期間使用しない場合…… 35
冬期凍結の恐れがある場合…… 36

修理を依頼される前に
●故障かなと思ったら…… 38

アフターサービス…… 42
仕様…… 44
別売品のご案内…… 45
保証書……裏表紙

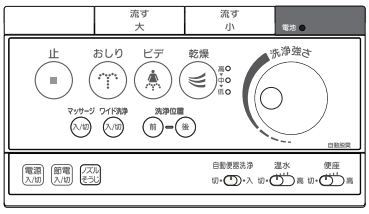
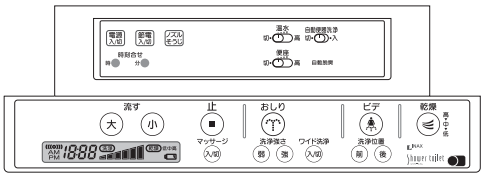
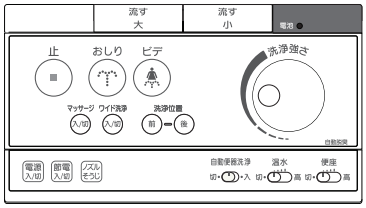
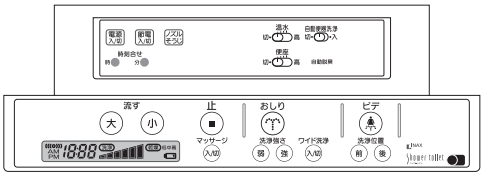
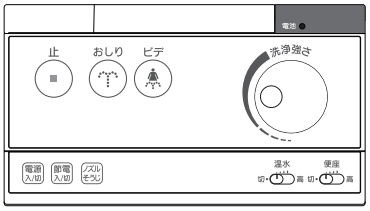
はじめに

このたびは当社商品 PASSO をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
この取扱説明書は、PASSO を有意義に、そして末永くお使いいただくための説明が記載してあります。
PASSO には、全部で 7 種類の機種があります。
保有機能が異なりますので、便フタ裏の品番シールと下記にてお客さまの品番・保有機能をご確認してください。

■保有機能一覧（あり：○、なし：—）

品番	CW-E43	CW-E43Q CW-E430	CW-E41	CW-E41Q CW-E410	CW-E40
おしり・ビデ洗浄	○	○	○	○	○
温風乾燥	○	○	—	—	—
脱臭	○	○	○	○	—
マッサージ・ワイド洗浄・洗浄位置調節	○	○	○	○	—
フルオート便器洗浄	—	○	—	○	—

■リモコン一覧（左側 ：壁リモコン、右側：インテリアリモコン）

	壁リモコン	インテリアリモコン
CW-E43 型 CW-E430 型		
CW-E41 型 CW-E410 型		
CW-E40 型		

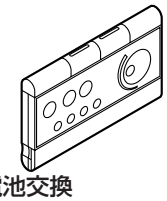
※ 機種によってスイッチの数や種類が異なります。
※ インテリアリモコンは、インテリアリモコンに同梱の取扱説明書をあわせてご覧ください。
※ CW-E40 型はインテリアリモコンに対応しません。

各部のなまえ

■全体図

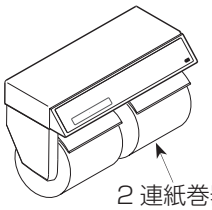
※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

壁リモコン☆
（☞ 10 ページ参照）



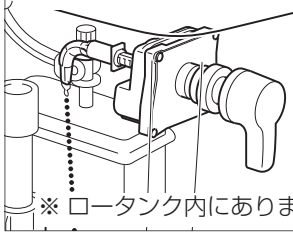
電池交換
（☞ 27 ページ参照）

インテリアリモコン☆
（☞インテリアリモコン取扱説明書）

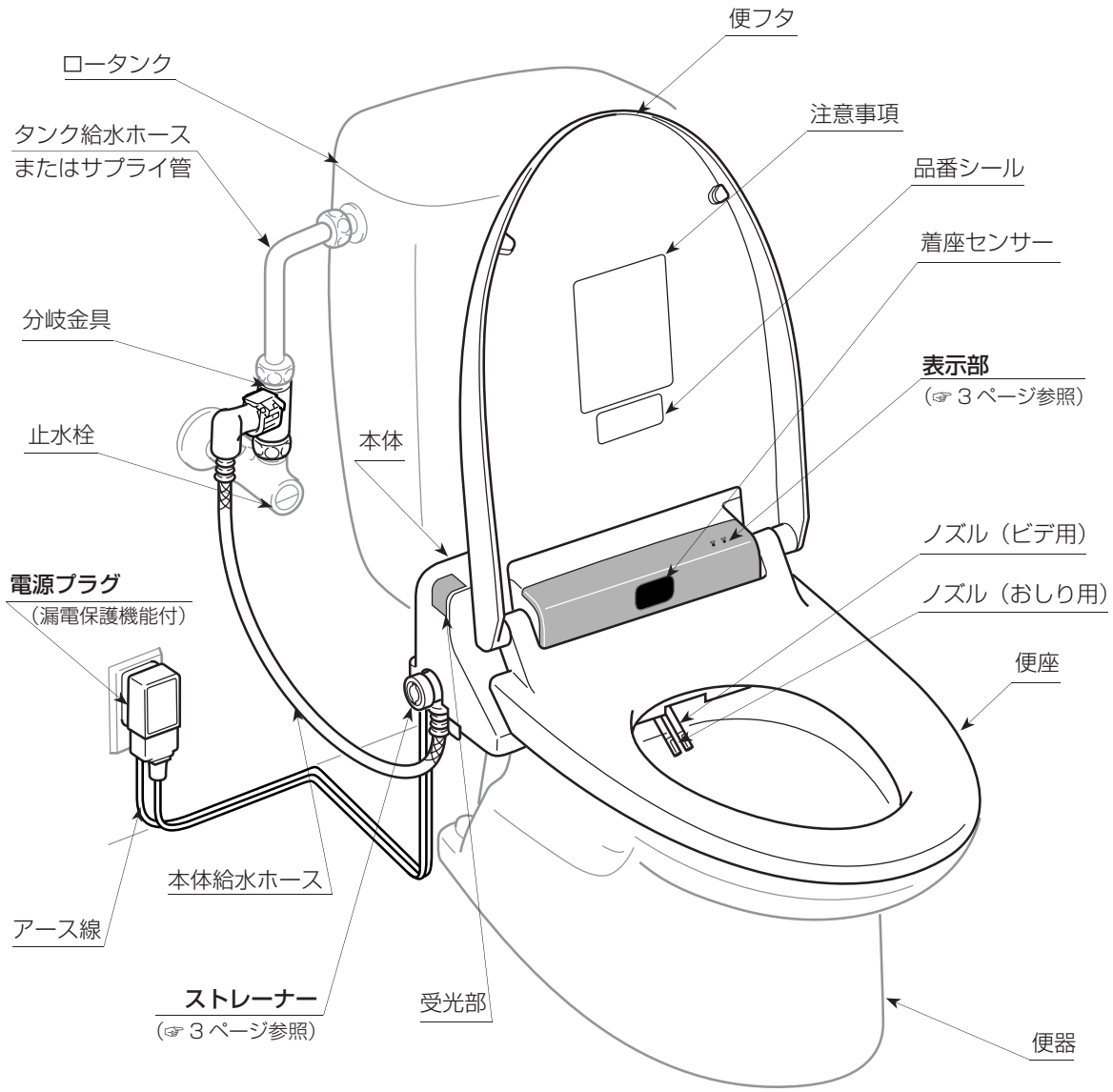


2 連紙巻器

フルオート便器洗浄ユニット☆



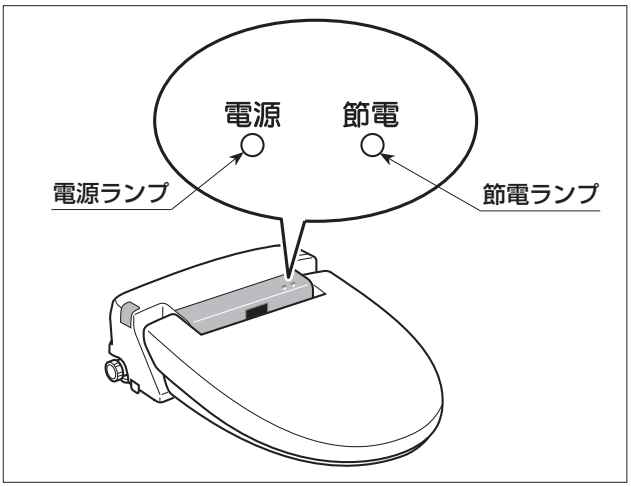
※ ロータンク内にあります。



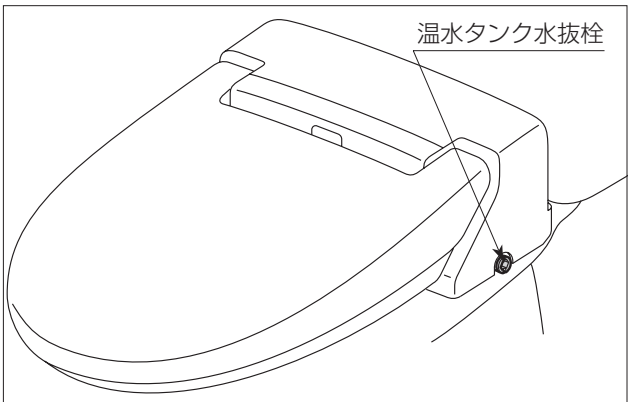
※ 操作は、リモコンのみになります。
※ インテリアリモコンは、インテリアリモコンに同梱の取扱説明書をあわせてご覧ください。

※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

■表示部

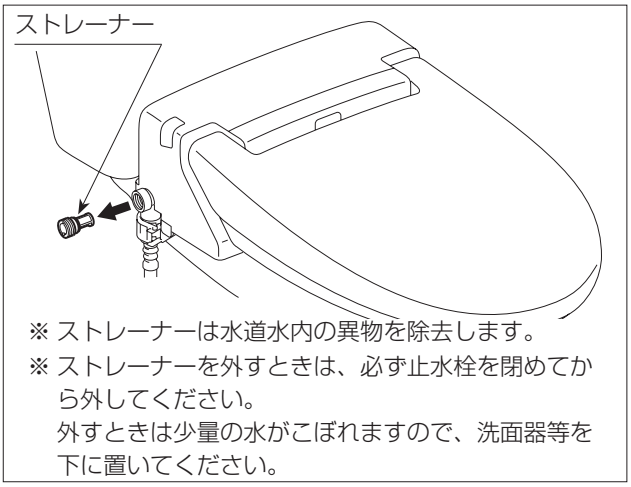


■温水タンク水抜栓



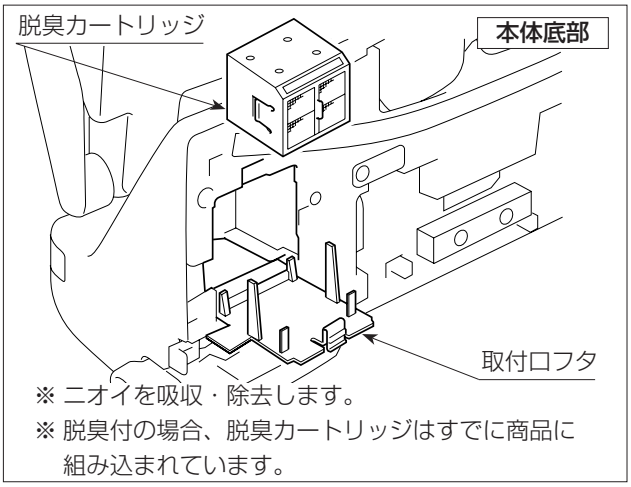
※ 温水タンク水抜栓は、温水タンク内の水を抜くときにゆるめます。

■ストレーナー



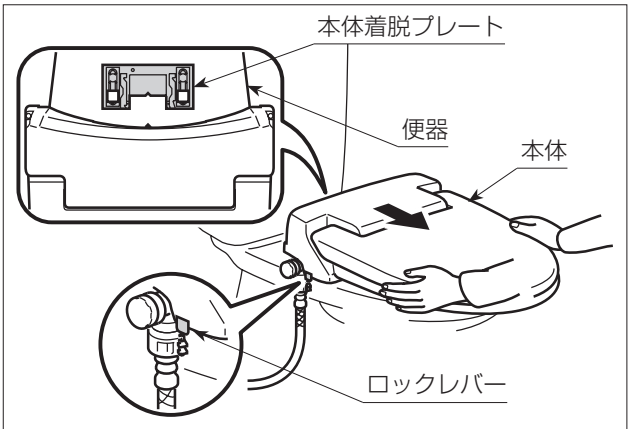
※ ストレーナーは水道水内の異物を除去します。
※ ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてから外してください。
外すときは少量の水がこぼれますので、洗面器等を下に置いてください。

■脱臭カートリッジ ☆



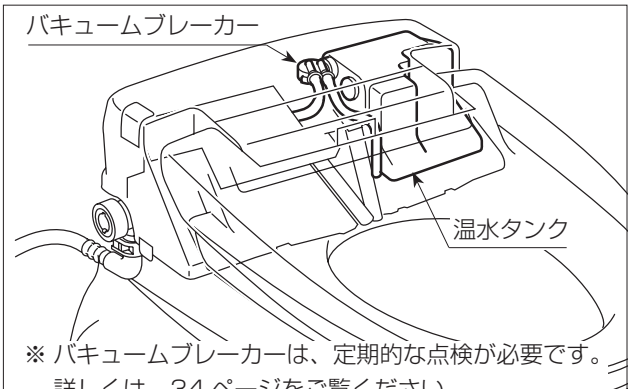
※ ニオイを吸収・除去します。
※ 脱臭付の場合、脱臭カートリッジはすでに商品に組み込まれています。

■本体着脱プレート&ロックレバー



※ お手入れ時、本体を着脱するためのプレートです。

■逆流防止装置（バキュームブレーカー）



※ バキュームブレーカーは、定期的な点検が必要です。
詳しくは、34 ページをご覧ください。
※ 本体に内蔵されています。

安全上の注意（必ずお守りください。）

ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告 ・・・・ 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 ・・・・ 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

・・・・ 「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

禁止 ・・・・ この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。

指示実行 ・・・・ この表示は、必ず実行していただく「強制」の記号です。

⚠警告

●長時間使用するときは、便座温度を「切」にしてください。
●次のような方が使用されるときには、周りの方が便座温度を「切」にしてください。
〔お子様、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方、深酒、疲労の激しい方〕
※「切」以外の温度で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

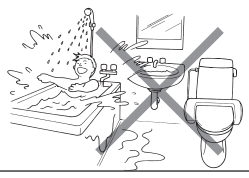
指示実行

●乾燥を長時間使用するときは、乾燥温度を「低」にしてください。
●次のような方が使用されるときには、周りの方が乾燥温度を「低」にしてください。
〔お子様、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方、深酒、疲労の激しい方〕〈乾燥付の場合〉
※「低」以外の温度で長時間使用されますと、ヤケドの恐れがあります。

指示実行

バスルームなど湿気の多い場所には設置しないでください。
※感電・火災の原因になります。

水場使用禁止



確実にアース線をアースターミナルに接続してください。
※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。
※ コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。

アース接続

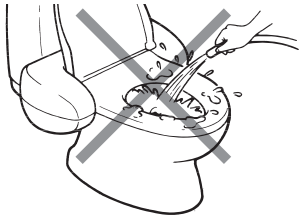
⚠警告

修理技術者以外の人は、分解したり修理・改造は行わないでください。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。
分解禁止

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。
※感電の原因になります。
ぬれ手禁止

ガタついているコンセントやアースターミナル付接地極付以外のコンセントは使用しないでください。
※ 感電・火災の原因になります。
禁止

シャワートイレ本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。
※ 感電・火災の恐れがあります。
水かけ禁止



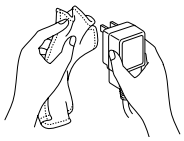
凍結の恐れがある場合は、必ず凍結防止操作を行ってください。
（36・37 ページ参照）
※凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。
指示実行

●シャワートイレ本体・電源プラグ・コードが故障（異音・異臭・発煙・高温・割れ）した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、修理を依頼してください。
※ 感電・火災の原因になります。
●シャワートイレ本体および給水部から漏水した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉めてください。
※ 感電・火災・室内浸水の原因となります。
指示実行

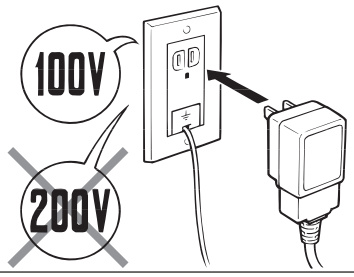
水道水以外に接続しないでください。
※ 機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。
禁止

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※ 電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。
禁止

電源プラグにホコリがたまらないよう、コンセントから抜いて定期的に乾いた布でふき取ってください。
※ホコリが火災の原因になります。
電源プラグを差し直す時は、10 秒程度時間をあけてください。
指示実行



●交流 100V 以外では使用しないでください。
●タコ足配線はしないでください。
※ 火災の原因になります。
禁止



電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。
※感電・火災の原因になります。
指示実行

⚠注意

給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。
※ 漏水し室内浸水の原因になります。
禁止

タバコや灰皿などの火気類を近づけないでください。
※火災の原因になります。
火気禁止

⚠注意

プラスチック部のお手入れには、便座に使用できる洗剤以外 (トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール) は使用しないでください。

禁止

※プラスチック部が割れてケガの原因になります。
※感電・火災の原因になります。

●温風吹出口に触れないでください。
●温風吹出口の前に燃えやすい物をおかないでください。

禁止

〈乾燥付の場合〉
※ 高温になるため、ヤケド・火災の原因になります。

便器の陶器部にヒビが入ったり、割れたりしたら破損部は絶対に触らないでください。

接触禁止

※ 破損部でケガをすることがあります。早めに交換してください。

定期的に配管の周りを見て水漏れがないか確認してください。

指示実行

※部品の劣化・摩耗などになる水漏れが発見できず、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

止水栓に手をかけたり、乗ったりしないでください。

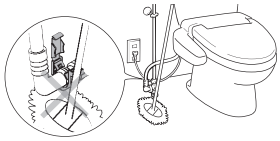
禁止

※ 漏水し室内浸水の原因になります。

清掃時等、クリップに衝撃を与えたり、引っかけたりしないでください。

禁止

※クリップの破損等により給水ホースが外れ、室内浸水の原因となります。



便フタや本体の上に乗らないでください。

禁止

※ 破損してケガをすることがあります。

●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
●ストレーナーを取り付ける際は、ストレーナーの端が本体に隠れるまでしっかり締めてください。

指示実行

●ゴミが O リングに付着した状態で取り付けないでください。
※ 漏水し、室内浸水の原因になります。

脱臭カートリッジ取付口の奥に指を入れないでください。

禁止

〈脱臭付の場合〉
※ ケガの原因になります。

長期間使用しない場合は、水抜き操作を行い、電源プラグをコンセントから抜いてください。(35 ページ参照)

指示実行

※凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。
※水が汚れて皮膚の炎症などを起こす原因になります。

便フタにもたれないでください。

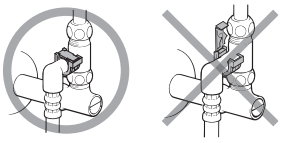
禁止

※ ケガをしたり、破損したりすることがあります。

クリップは給水ホースに、確実にはまっている事を確認してください。

指示実行

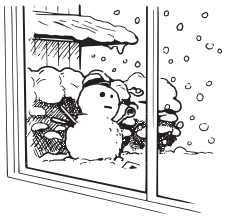
※ はまっていないと給水ホースが外れ、漏水する恐れがあります。



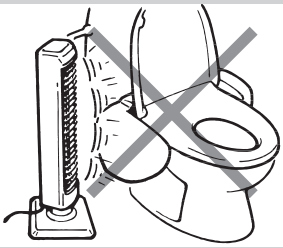
お取り扱い上の注意

■故障を起こさないために守ってください。

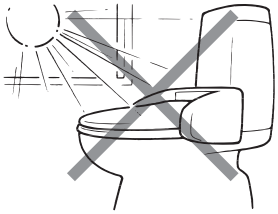
凍結の恐れがあるような夜間は、凍結による破損を防止するために凍結防止方法を実施してください。（☞ 36、37 ページ）



シャワートイレ本体にストーブやヒーターなどを近付けすぎないでください。
※**変色や故障の原因**になります。

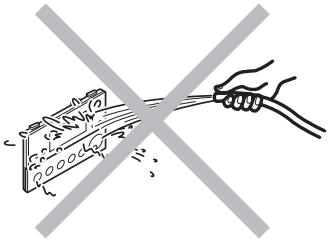


直射日光が当たらないようにしてください。
※プラスチック部が変色することがあります。
※リモコン作動不良の原因になります。

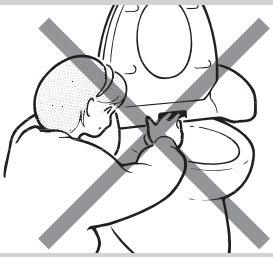


便フタおよび便座の開閉は乱暴に行わないでください。
※割れたり**漏電など故障の原因**となることがあります。

リモコンに水や洗剤をかけないでください。
※**故障の原因**となることがあります。



絶対に温風吹出口をふさがないでください。
※**故障の原因**になることがあります。
〈乾燥付の場合〉



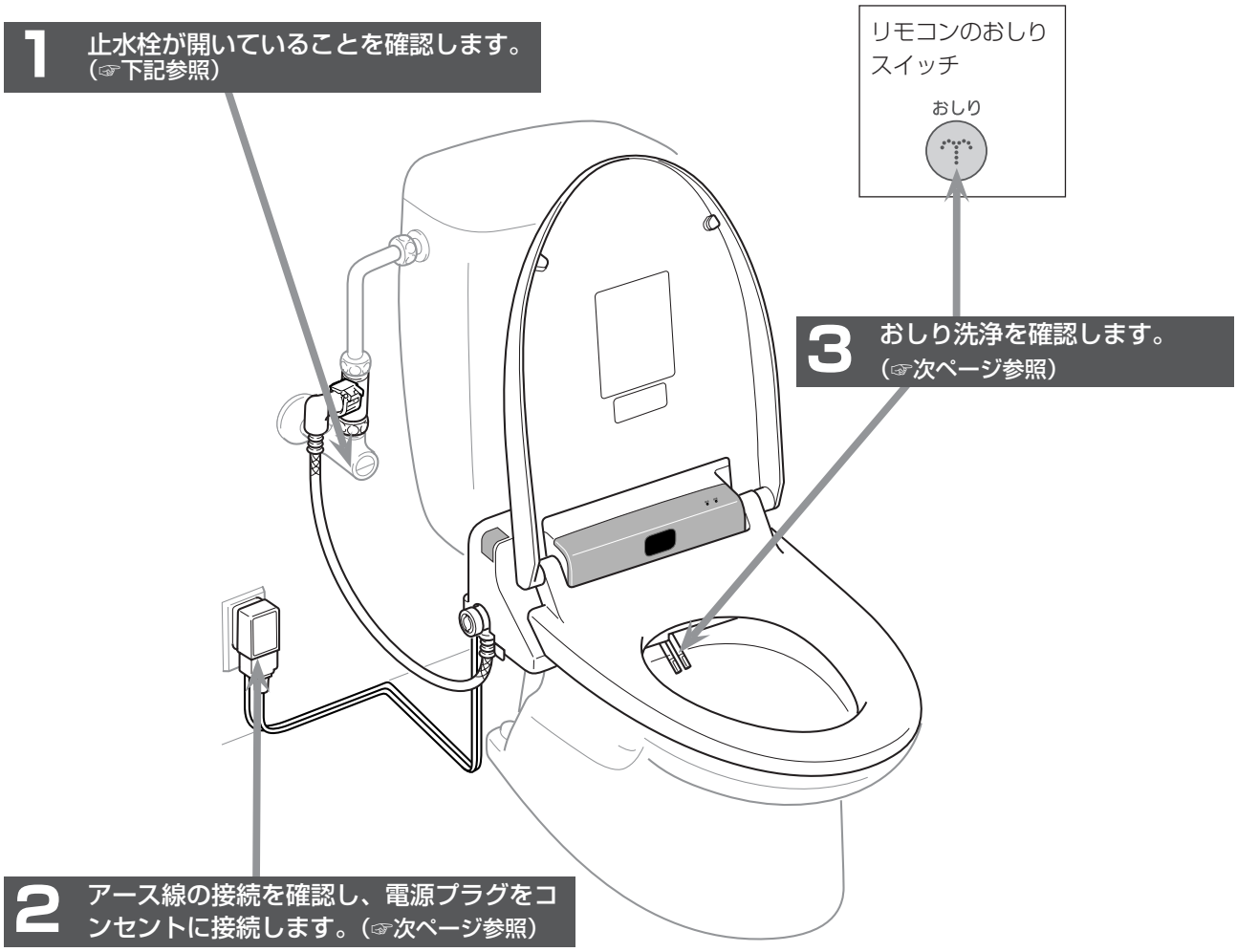
プラスチック部に、トイレ用消臭剤をかけないように注意してください。
かかった場合は、すぐにふき取ってください。
※光沢が無くなることがあります。

本体・便座・便フタなどのプラスチック部を乾いた布やトイレットペーパーなどでふかないでください。
※傷つきの原因になります。
詳しいお手入れ方法は 23 ページをご覧ください。

ぬれた手でリモコンを操作しないでください。
※故障の原因になります。

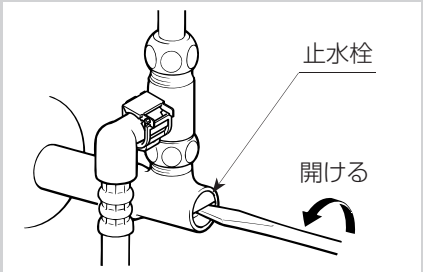
お使いになる前に確認してください

シャワートイレを便器に設置し、はじめて使用される前に必ず下記の項目を確認してください。



1 止水栓が開いていることを確認します。

止水栓が閉まっている場合は、左に回して開けます。
開いている場合は調節してありますので、必ずもとの位置に戻してください。



⚠ 警告

確実にアース線をアースターミナルに接続してください。
※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。
※ コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。

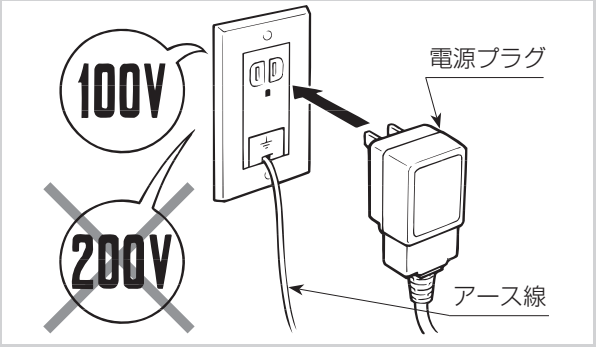
⚠ 警告

- 交流 100V 以外では使用しないでください。
- タコ足配線はしないでください。
  ※ 火災の原因になります。

※ 電源ランプは、シャワートイレ本体の表示部にあります。（☞ 3 ページ参照）

2 アース線の接続を確認し、電源プラグをコンセントに接続します。

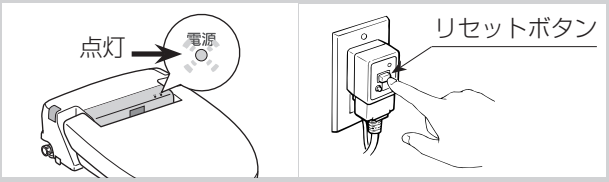
1. アース線がコンセントのアース端子に接続してあることを確認します。
2. 電源プラグを交流 (AC)100V のコンセントに差し込みます。



3. 本体表示部の電源ランプが点灯していることを確認します。

本体表示部の電源ランプ（緑）が点灯します。
もし、電源ランプが点灯しなかったら電源プラグのリセットボタンを押してください。

注意 電源プラグを差し直す時は、10 秒程度時間をあけてください。



※電源プラグには、シャワートイレ内部で万一漏電が起こった場合、電気を遮断する安全装置が付いています。

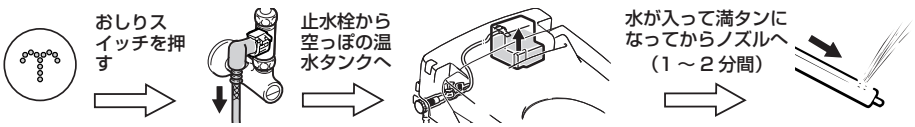
3 おしり洗浄を確認します。

1. 着座センサーが紙で覆われていることを確認します。
   ※ 紙が張っていない場合は、着座センサーを紙や布で覆ってください。（着座センサーを ON にします。）
   ※ ノズル付近から水が出ることがあります。
   最初に水が出るのは構造上、必要な動作です。
2. リモコンの洗浄ダイアルを「強」側に回し、おしりスイッチを押します。
3. ノズルが伸びてきたら先端に手をかざしてシャワーを受け止めます。（1 ～ 2 分後）
4. シャワーを止めるときは、止スイッチを押します。
   ご使用方法 (10 ページ以降) をご覧になって他の機能も確認してください。
5. 着座センサーを覆っていた紙は、確認後、必ず取り去ってください。

※ 人が便座に座ったことを感知する**着座センサー**が付いています。おしり洗浄、ビデ洗浄、脱臭〈脱臭付の場合〉、乾燥〈乾燥付の場合〉は、着座していないと作動しません。

シャワーが出るまで 1 ～ 2 分かかります。

温水タンクに水がたまるまで 1 ～2分かかります。水が出るまでは着座センサーを ON に保ってください。着座センサー ON のまま洗浄強さを最強にして、おしりスイッチを押してください。



ご使用方法〈壁リモコン編〉

※インテリアリモコンは、インテリアリモコンに同梱の取扱説明書をご覧ください。

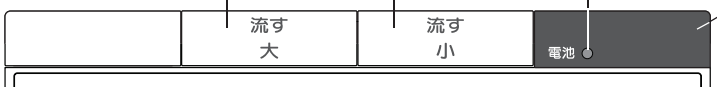
■リモコン本体　※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

● 操作部上面

流す ★
便器洗浄をするときに使用します。（☞ 18 ページ）

電池ランプ
電池の寿命が近づくと点滅します。（☞ 27 ページ）

送信部



● 操作部

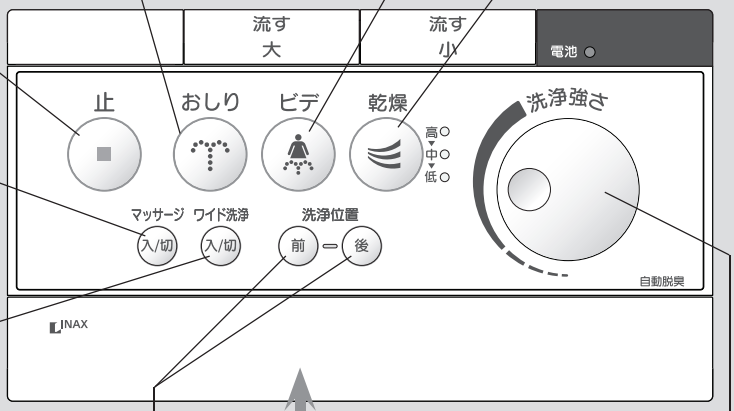
止
●おしり洗浄●ビデ洗浄
●乾燥〈乾燥付き場合〉の動作を止めます。

おしり
おしり洗浄のときに使用します。（☞ 12 ページ）

ビデ
ビデ洗浄のときに使用します。（☞ 12 ページ）

乾燥 ★
ぬれた部分を乾かすときに使用します。（☞ 15 ページ）

マッサージ ★
シャワーに強弱がつき、マッサージ感があります。（☞ 14 ページ）

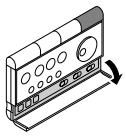


ワイド洗浄 ★
ノズルが前後に動いて広い範囲を洗浄します。（☞ 13 ページ）

洗浄位置 ★
洗浄位置を調節します。（☞ 13 ページ）

洗浄強さダイアル
おしり洗浄、ビデ洗浄の洗浄強さを調節します。（☞ 12 ページ）

※ 脱臭は、便座に座ると自動でファンが作動します。
〈脱臭付の場合〉（☞ 16 ページ）



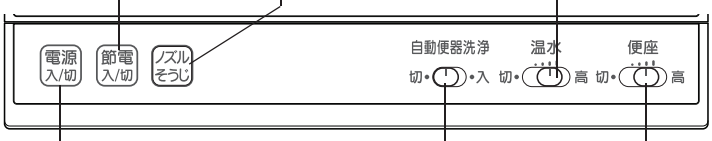
副操作部
（操作部下部のフタを開けます）

● 副操作部

節電
便座と温水の温度を下げて節電します。（☞ 17 ページ）

ノズルそうじ
ノズルの掃除に使用します。（☞ 24 ページ）

温水
温水温度を調節します。（☞ 11 ページ）



電源
シャワートイレ本体の電源を入 / 切します。（☞ 11 ページ）

自動便器洗浄 ★
便座から立ち上がると自動的に便器内を洗浄します。（☞ 18 ページ）

便座
暖房便座の温度を調節します。（☞ 11 ページ）

《ご使用前の準備》

シャワートイレを使用する前に下記の操作をしますと、より快適にご使用になれます。

■電源（電源の入／切）

電源スイッチを押して電源の入／切をします。

※ 電源が入ると本体表示部の電源ランプが点灯します。

※ 購入後、はじめて電源プラグをコンセントに差し込むと、電源は「入」の状態になります。

■温水（シャワーの温めかた）

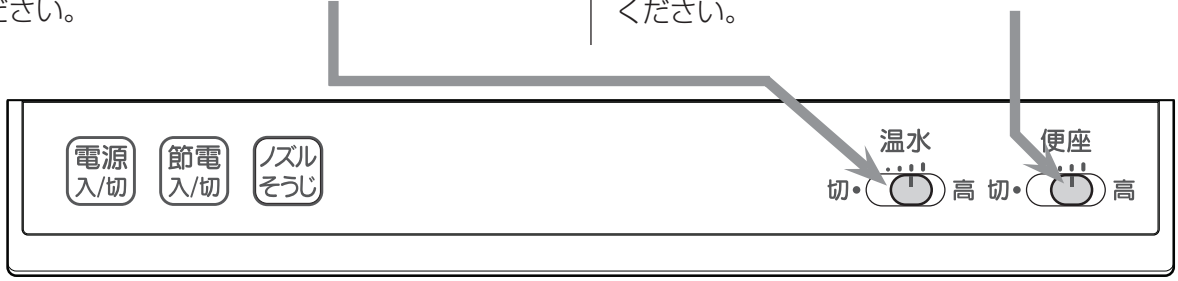
温水スイッチでシャワーの温度を調節します。

スイッチは４段階（「高」、「中」、「低」、「切」）に切り替えできますので、お好みの温度に設定してください。

■便座（便座の暖めかた）

便座スイッチで便座の温度を調節します。

スイッチは４段階（「高」、「中」、「低」、「切」）に切り替えできますので、お好みの温度に設定してください。



参考

- 便座はすぐには暖まりません。あらかじめ使用する 10 ～ 15 分前にスイッチを入れておけば、快適にご使用できます。
- 座ると自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする“便座ヒーターオート OFF”機能が付いています。（☞ 19 ページ参照）
- 便座温度「中」の設定温度だけを 2℃下げることができます。（☞ 19 ページ参照）

⚠ 警告

●長時間使用するときは、便座温度を「切」にしてください。

●次のような方が使用されるときには、周りの方が便座温度を「切」にしてください。
〔お子様、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方、深酒、疲労の激しい方〕

※「切」以外の温度で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

《基本機能の使いかた》

■おしり洗浄

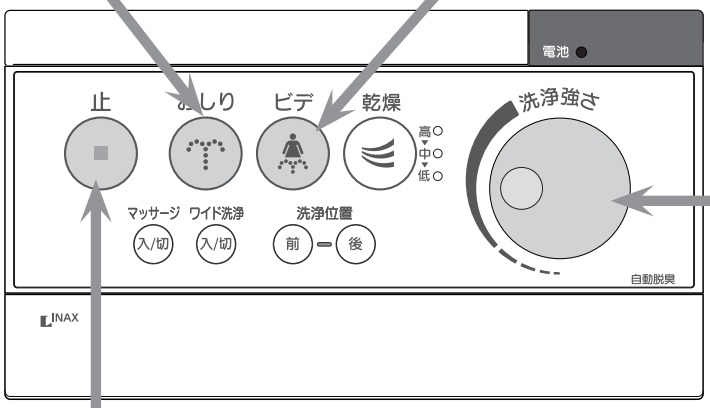
ノズルの先端からシャワーがでて、おしりを洗います。

1 おしりスイッチを押します。

■ビデ洗浄

ノズルの先端からシャワーがでて、女性のデリケートな部分を洗います。

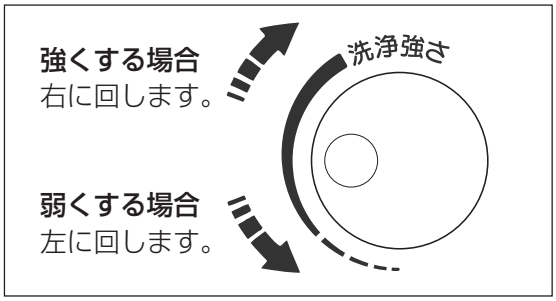
1 ビデスイッチを押します。



3 止めるときは止スイッチを押します。

※ おしりおよびビデ洗浄は、2 分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。

2 洗浄強さダイアルを回してシャワーの強さを調節します。



※ ノズルオートクリーニングについて
おしり・ビデ洗浄の前と後に自動でノズルを洗うノズルオートクリーニング機構が付いています。

注意

- 水道圧が低いところでは、洗浄強さを弱くすると、シャワーがおしりに当たらないことがあります。このような場合は、洗浄強さを強くしてください。
- 便座には、深く腰掛けてください。
  深く腰掛けるとシャワーの飛び散りが少なくなります。

参考

洗浄強さを一番弱くしてもまだ強いと思われる方のために、シャワーを最弱にする機能が付いています。
(☞ 20 ページ参照)

■ワイド洗浄

※機種によっては、この機能がない場合があります。

おしりまたはビデ洗浄中にノズルが前後に動いて広い範囲を洗浄します。

1 ワイド洗浄スイッチを押します。

2 止めるときは、再びワイド洗浄スイッチを押します。

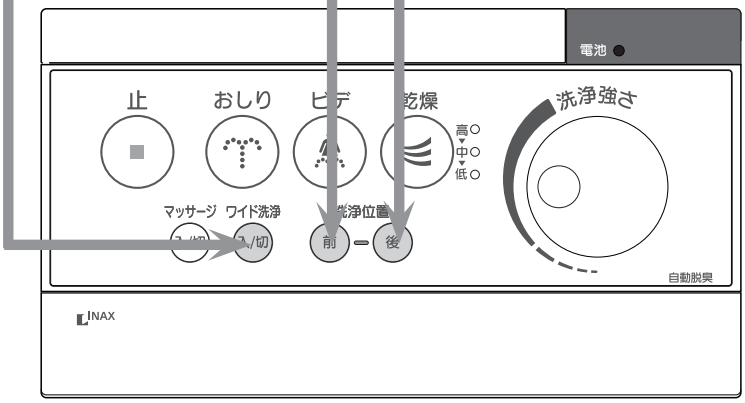
■洗浄位置の調節

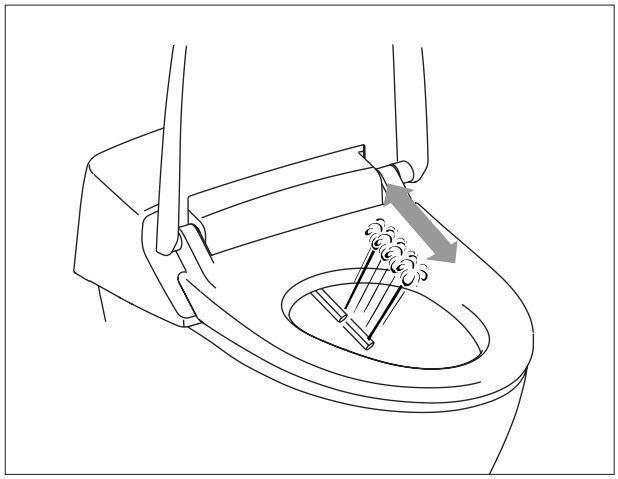
※機種によっては、この機能がない場合があります。

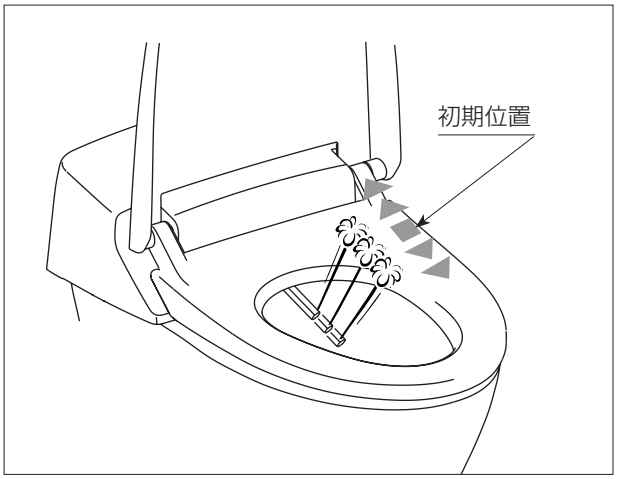
おしりまたはビデ洗浄中に洗浄位置を全５段階に調節することができます。
（初期位置、前２段、後２段の計５段）

洗浄位置の「前」または「後」スイッチを押します。

※ 便座から立ち上がると、自動的に初期位置に戻ります。







■おしりマッサージ洗浄

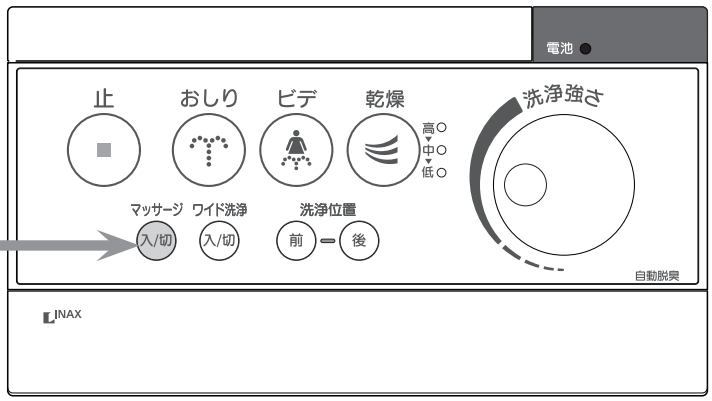
※機種によっては、この機能がない場合があります。

おしり洗浄中、洗浄強さの強弱をくり返してマッサージ洗浄を行います。

※マッサージ洗浄の感じ方には、個人差があります。

1 おしり洗浄中にマッサージスイッチを押します。

2 止めるときは、再びマッサージスイッチを押します。



■乾燥

※機種によっては、この機能がない場合があります。

温風がでて、シャワーで濡れた部分を乾燥します。

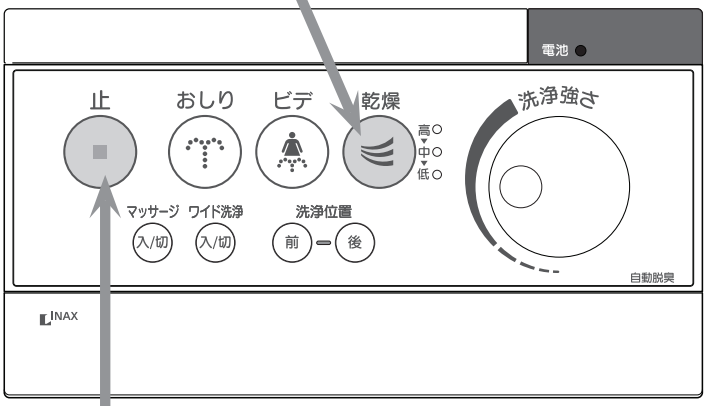
1 乾燥スイッチを押します。

※温風の温度は 3 段階に調節できます。

2 温風温度を変えるときは再度乾燥スイッチを押します。

スイッチを押すたびに表示ランプが切り替わりますのでお好みの温度に設定してください。

※ スイッチを押すごとに「高」から「中」→「低」→「高」と表示ランプの点灯が切り替わります。



3 止めるときは止スイッチを押します。

※ 乾燥は、4 分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。
※ 乾燥が動作中は一時、脱臭が停止します。

⚠ 警告

- 乾燥を長時間使用するときは、乾燥温度を「低」にしてください。
- 次のような方が使用されるときには、周りの方が乾燥温度を「低」にしてください。
  〔お子様、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方、深酒、疲労の激しい方〕〈乾燥付の場合〉
  ※「低」以外の温度で長時間使用されますと、ヤケドの恐れがあります。

(参考)

- 洗浄後、トイレットペーパーで軽く水滴を取ってから乾燥スイッチを押せば、素早く乾燥できます。
- 温風温度が「高」から始まるパターンを「低」から始まるパターンに切り替える“温風「低」始動”機能が付いています。(☞ 20 ページ参照)

※ 電源ランプは、シャワートイレ本体の表示部にあります。(☞ 3 ページ)

■脱臭

※機種によっては、この機能がない場合があります。

1 便座に座ると脱臭を始めます。

※ 脱臭ファンが「パワーモード」で作動し、便鉢内のニオイを除去します。

※ 乾燥〈乾燥付の場合〉を使用しているときは、一時脱臭が停止します。

2 便座から立ち上がります。

※ 脱臭ファンが「フルパワーモード」で作動し、ニオイを除去します。

※ 立ち上がってから 1 分後に自動停止します。

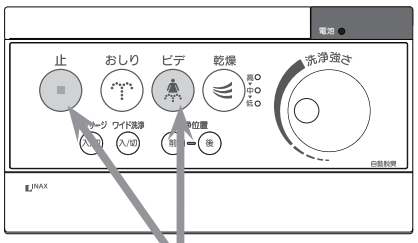
※ シャワートイレ本体にニオイを吸収する脱臭カートリッジが装着されています。(☞ 28 ページ)

●脱臭を使用しない場合

止スイッチとビデスイッチを同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。

※ セット完了時、表示部の電源ランプが一瞬点滅し、脱臭ファンは作動しなくなります。

※ 再び、使用する場合も止スイッチとビデスイッチを同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。



同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。

《快適機能の使いかた》

■節電

節電機能には**スーパー節電**と**ワンタッチ節電**の 2 種類があります。

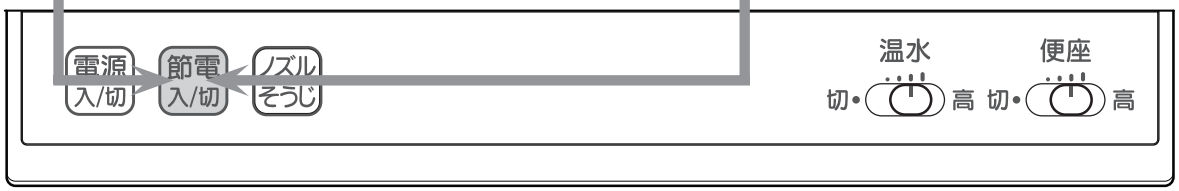
1. **スーパー節電**： 便フタを閉じている時は、温水と便座の温度を下げて、消費電力を抑える節電です。

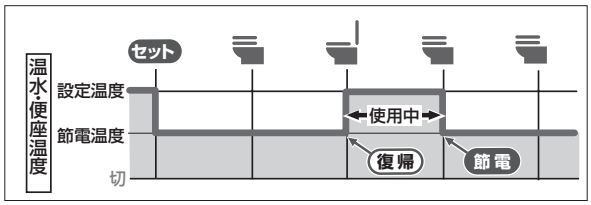
2. **ワンタッチ節電**： 長時間使用しない夜間などスイッチを押してから 8 時間、温水と便座のヒーターを切にして消費電力を抑える節電です。8 時間後、温水温度と便座温度を設定状態に戻します。

スーパー節電を設定した上でさらにワンタッチ節電を併用することで、効果的な節電が行えます。

1. スーパー節電（常時）

1 節電スイッチを 2 秒以上押し続けます。（節電ランプ点滅下記参照）





※ 便フタが閉じている間は常に節電しています。スーパー節電が作動しているときは、節電ランプが 0.3 秒間隔で 2 回ずつ点滅します。

※ ワンタッチ節電と併用した場合、節電ランプの点滅はワンタッチ節電と同様となります。

※ 便フタが開いている間は、一時的に節電は解除されます。（節電ランプ点灯）

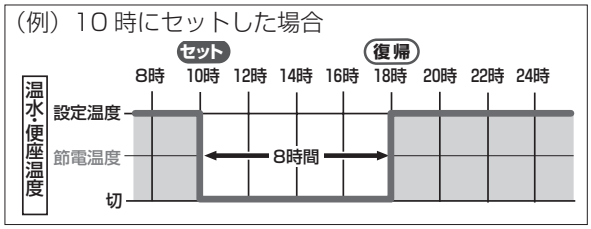
※ ワンタッチ節電作動中は、スーパー節電の設定・解除ができません。一度、ワンタッチ節電を解除してください。

2 解除するときは、再び節電スイッチを 2 秒以上押し続けます。（節電ランプ消灯）

2. ワンタッチ節電（8 時間）

1 節電スイッチを押します。（節電ランプ点滅下記参照）

（例）10 時にセットした場合



※ ワンタッチ節電が作動しているときは、節電ランプが 0.5 秒間隔で 1 回ずつ点滅します。

※ 8 時間経過すると、自動的に機能はもとの状態に戻り、節電ランプは点滅から消灯に切り替わります。

※ ワンタッチ節電は 1 日に、何度でも使用できます。

2 解除するときは、再び節電スイッチを押します。（節電ランプ消灯）

※ 節電時は温水と便座の温度を下げているため、冷たいと感じる場合があります。その際は節電を解除してください。

※ 節電機能を使用しない場合でも便フタを閉じておくと節電に効果的です。

※ 電源ランプ・節電ランプは、シャワートイレ本体の表示部にあります。（☞ 3 ページ）

■フルオート便器洗浄（自動便器洗浄）

※機種によっては、この機能がない場合があります。

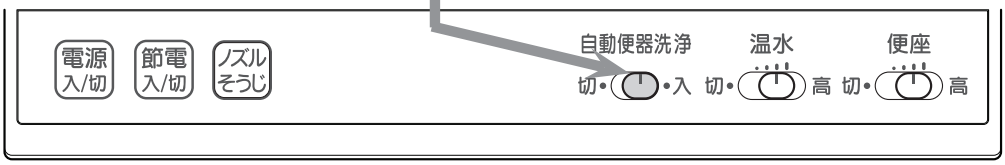
自動便器洗浄には 2 通りの方法があります。

1. 便座から立ち上がると数秒後に自動で洗浄を行う **“フルオート便器洗浄”**。
2. リモコンの流すスイッチを押して便器洗浄を行う **“リモコン便器洗浄”**。

1. フルオート便器洗浄のしかた

1 自動便器洗浄スイッチを「入」にします。

2 使用しないときは、自動便器洗浄スイッチを「切」にします。



※ 大小洗浄便器（リモコンに「大･小」スイッチがある場合）において、フルオート大小洗浄は、座った時間の長さで「50 秒以上：大洗浄」･「50 秒未満：小洗浄」を行います。ただし 50 秒未満でもおしり洗浄を使用した場合は「大洗浄」になります。

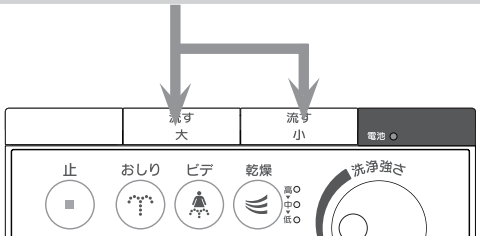
※ フルオート便器洗浄は、便座から立ち上がってから約 6 秒後に便器洗浄します。この 6 秒を約 15 秒後に切り替えることができます。（☞ 19 ページ参照）

2. リモコン便器洗浄のしかた

便器の種類によって、リモコンの流すスイッチが「**大・小**」または「**大**」があります。

■大小洗浄便器の場合

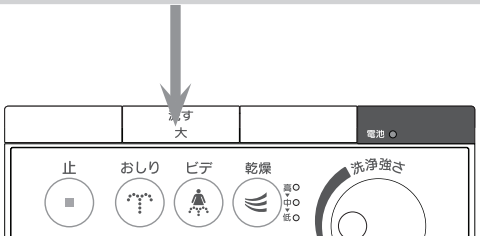
「大」：大便時に押します。
「小」：小便時に押します。



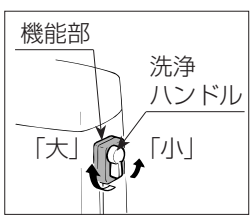
※ 大便時に「小」スイッチを押すと、汚物が流れないことがあります。

■大のみ洗浄便器の場合

便器洗浄時に「大」スイッチを押します。



※ 機能部がタンク外側に付いている機種は、洗浄ハンドルを「小」側に保持している間だけ小洗浄が行えます。



■より快適な機能

※ 電源ランプは、シャワートイレ本体の表示部にあります。（☞ 3 ページ）

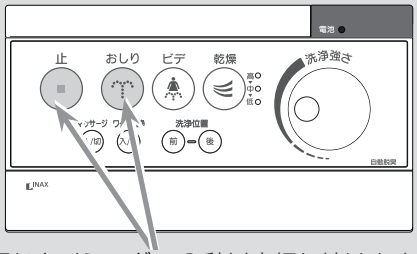
便座ヒーターオート OFF について

座ると自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする機能が付いています。下記の要領でセットしてください。

■セットおよび解除方法

●止スイッチとおしりスイッチを同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。
（セット完了時、電源ランプが 2 回点滅します。）
●解除も同じ方法で行います。

※ 便座ヒーターは、立ち上がると自動的に復帰します。



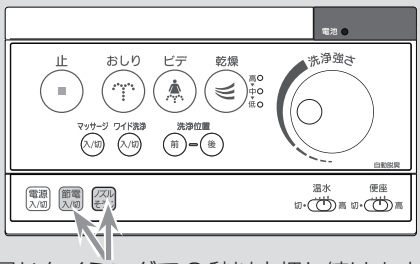
同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。

便座温度「中」の設定温度変更について

便座温度「中」でも熱いと感じる場合、設定温度を 2℃下げることができます。下記の要領でセットしてください。

■セットおよび解除方法

●節電スイッチとノズルそうじスイッチを同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。
（セット完了時、電源ランプが 2 回点滅します。）
●解除も同じ方法で行います。



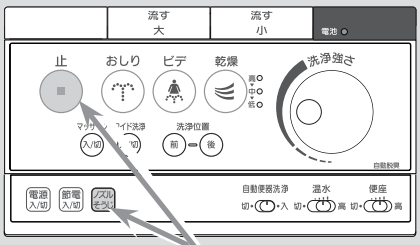
同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。

フルオート便器洗浄開始時間について〈フルオート便器洗浄付の場合〉

フルオート便器洗浄は、便座から立ち上がってから約 6 秒後、自動的に便器洗浄を開始します。この開始時間を、約 15 秒後に切り替えることができます。お好みに合わせて下記の要領で切り替えてください。

■セットおよび解除方法

●止スイッチとノズルそうじスイッチを同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。
（セット完了時、電源ランプが 2 回点滅します。）
●元に戻すのも同じ方法で行います。



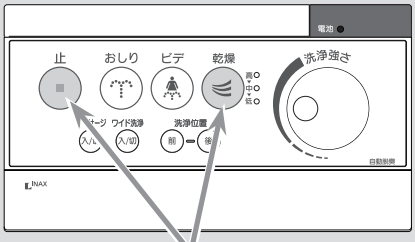
同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。

温風「低」始動について〈乾燥付の場合〉

温風温度を「低」から始まるようにすることができます。
（低→中→高→低）
お年寄り、身体の不自由な方、温度感覚のない方におすすめです。
下記の要領でセットしてください。

■セットおよび解除方法

●止スイッチと乾燥スイッチを同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。
（セット完了時、電源ランプが 2 回点滅します。）
●解除も同じ方法で行います。



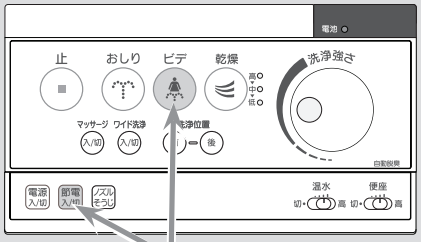
同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。

洗浄強さをさらに弱くしたい方のために

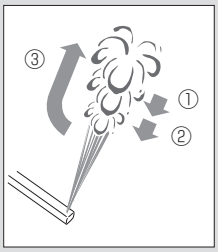
おしり洗浄・ビデ洗浄を「弱」にしてもまだ強いと思われる方は下記のように調節してください。

■セットおよび解除方法

●節電スイッチとビデスイッチを同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。セット完了時、電源ランプが 2 回点滅して洗浄強さが弱くなります。弱くする設定は 2 段階ありますので、お好みの強さに調節してください。



同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。



押すたびに洗浄強さが 1 段階ずつ弱くなり、3 回押すと元に戻ります。操作のたびに電源ランプが 2 回点滅します。

※ 水圧の低い所では、最弱の設定にするとシャワーが届かないことがありますのでご注意ください。

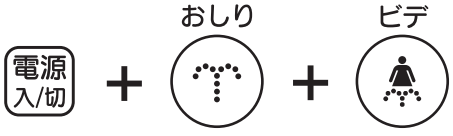
元に戻す場合は再度、節電スイッチとビデスイッチを同じタイミングで 2 秒以上押し続ける操作を繰り返します。合計 3 回目で元に戻ります。

※一段階弱くした場合は 2 回操作し、二段階弱くした場合は 1 回操作すると元の洗浄強さに戻ります。

《お買い上げ時の設定は》

お買い上げ時の設定は以下のようになっています。この「快適な機能」等で設定を変更し、全ての機能をお買い上げ時の設定に戻したい場合は、**「電源」と「おしり」、「ビデ」スイッチを同じタイミングで 6 秒以上**押し続けてください。（セット完了時、電源ランプが一瞬点滅します。）

機能説明	お買い上げ時の設定
脱臭の入／切	脱臭する
着座時のみ便座ヒーターを切る	切らない
便座温度「(中)」の設定温度	36℃
乾燥スイッチの押した順番	「高」→「中」→「低」
フルオート便器洗浄の開始時間	立ち上がってから 6 秒後
洗浄強さ「弱」の設定	3 段階中の最強



同じタイミングで 6 秒以上押し続けます。

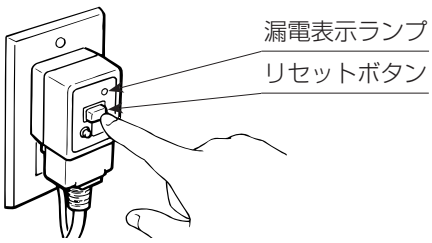
《知っておいていただきたいこと》

漏電表示ランプが点灯したとき

本体内部で漏電が発生すると、事故防止のために各機能を停止させ、電源プラグの「漏電」表示ランプを点灯させます。また、電源プラグに水がかかると漏電表示ランプが点灯する場合があります。

漏電表示ランプが点灯したときは、

1. 電源プラグをコンセントから抜き、20 ～ 30 秒ほど間をおいて再び差し込みます。
2. リセットボタンを押してランプを消灯させます。
   ※ 上記の操作をしても再びランプが点灯するようであれば、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または (株)INAX メンテナンスへご連絡ください。



省エネについて

省エネのためには、以下の項目が有効です。

- ●使用後は便フタを閉じておきましょう。
- ●便座カバーを取り付けると、省エネに有効です。
  ※ ただし、指定のカバーを使用し、こまめにカバーを洗濯して清潔さを保ってください。
- ●便座や温水の設定はむやみに高温にせず、快適さを損なわない程度に調節しましょう。
- ●春夏秋冬、気温に合わせてこまめに温度設定を行いましょう。
- ●節電機能のあるものはできるだけ利用しましょう。
- ●長時間の外出時など、不在時はこまめに電源を切っておきましょう。
  ※ 凍結破損の恐れがある場合は凍結防止方法を実施してください。(☞ 36、37 ページ)

はじめの頃、温風が少し臭うかもしれません〈乾燥付の場合〉

新しいうちは、温風が少し臭うことがありますが、有害ではありません。ご使用とともに消えます。

ノズルの付近から出る水は？

便座に座った直後や洗浄の前後、温水温度スイッチを押したときなど、ノズル付近から水が出ますが、これは構造上必要なもので、故障ではありません。

※ 上記以外のときやいつまでも水が止まらない場合は、止水栓を閉め、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または (株)INAX メンテナンスへご連絡ください。

便器のお手入れについて

便器（陶器部）のお手入れには、中性洗剤をお使いください。

塩素系洗剤・酸性洗剤・消毒剤を使用すると、気化したガスにより、シャワートイレの故障・破損の原因になります。

ゆっくり閉じる便座・便フタ

便座・便フタには、あやまって倒したときなどの衝撃をやわらげるため、ゆっくりと閉じるようにスローダウン機構が装備されています。

※ 強引に閉じると故障の原因になることがありますのでご注意ください。

洗浄強さダイアルが最弱付近ではシャワーが届かない、と思ったら

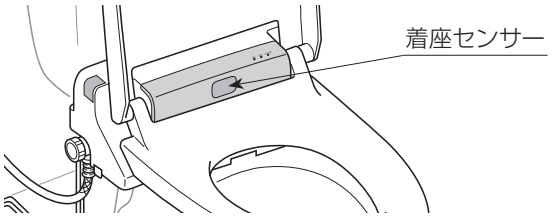
このシャワートイレは、水道圧によってシャワーを噴出する構造となっています。

水道圧が低いところでは、洗浄強さダイアルが最弱付近にあると、シャワーが届かないことがあります。

このようなときは、洗浄強さを強くしてください。(☞ 12 ページ)

着座センサーが付いています

人が座っていないときに誤ってスイッチを押してもシャワーが噴出しないよう、着座センサーが付いています。したがって便座に座らないとおしり洗浄、ビデ洗浄、脱臭〈脱臭付の場合〉、乾燥〈乾燥付の場合〉の各機能がはたらきません。



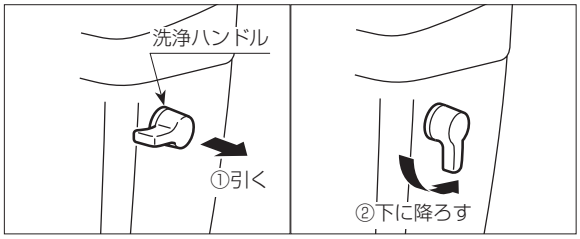
着座センサーは光の反射を利用しているため、次のような場合に作動しないことがあります。

- **前にかがんだり、前寄りに座った場合**
  ※ 便座に深めに座る等、座り方を変えてみてください。
- **黒色や毛羽立った布地などの光が反射しにくい衣服を着ている場合**
  ※ センサーに手をかざす等、肌を検知させるようにしてください。
- **センサーに汚れや水滴が付着している場合**
  ※ 汚れや水滴等を取り除いてください。

洗浄ハンドルが途中で止まったら〈フルオート便器洗浄付の場合〉

自動洗浄の作動中に停電すると、洗浄ハンドルが途中で止まってしまいます。そのままでは洗浄水が流れ放しになってしまいますので、以下の手順にしたがって洗浄ハンドルを元に戻してください。

(1) 洗浄ハンドルを引っぱりながら（矢印①）、下に降ろして（矢印②）洗浄水を止めます。
このとき洗浄ハンドルは、通常よりも少し浮いた状態になります。



(2) 停電が終わりましたら、リモコンの「大」スイッチを押して作動させます。
本体内部のモーターが作動し、洗浄ハンドルが通常の位置まで戻ります。

ラジオやテレビに雑音が入ったら

シャワートイレにラジオやテレビを近づけると、雑音が入ることがあります。
このような場合は、雑音が入らない位置までラジオやテレビを離して使用してください。

シャワーの温度について

- おしりまたはビデ洗浄を長時間使用しますとシャワーの温度がしだいに低下し、そのままさらに使用すると最後には水になります。
  冬期には冷水（約 5℃）から高（約 40℃）になるまでに約 10 分間かかります。
- シャワーの温度は、スイッチの位置に合わせて一定の温度に調節しています。
  温水タンク内制御温度
  低 : 約 36℃、中 : 約 38℃、高 : 約 40℃。

リモコンについて

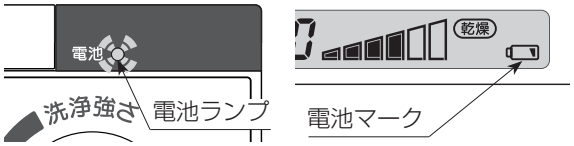
- リモコンの電池マーク点滅は、電池消耗をお知らせするサインです。
  お早めに新しい電池に交換してください。

壁リモコンの場合：☞ 27 ページ
インテリアリモコンの場合：☞インテリアリモコン取扱説明書「リモコンの電池交換」

※部屋の広さ、壁の仕上げや色（特に黒っぽい色）等により、電池マークが点滅する前に使用できなくなる場合があります。（信号が弱くなるため）

- トイレのドアを開けたままや電池マーク点滅時にリモコンのスイッチを押すと、まれに信号が本体に届かず作動しない場合があります。

壁リモコン　　**インテリアリモコン**

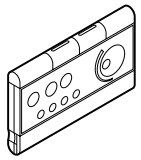


お手入れ方法

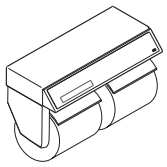
《各部のお手入れ》

このシャワートイレを末永くご使用いただくためにも以下のお手入れを実施してください。

リモコンの電池交換

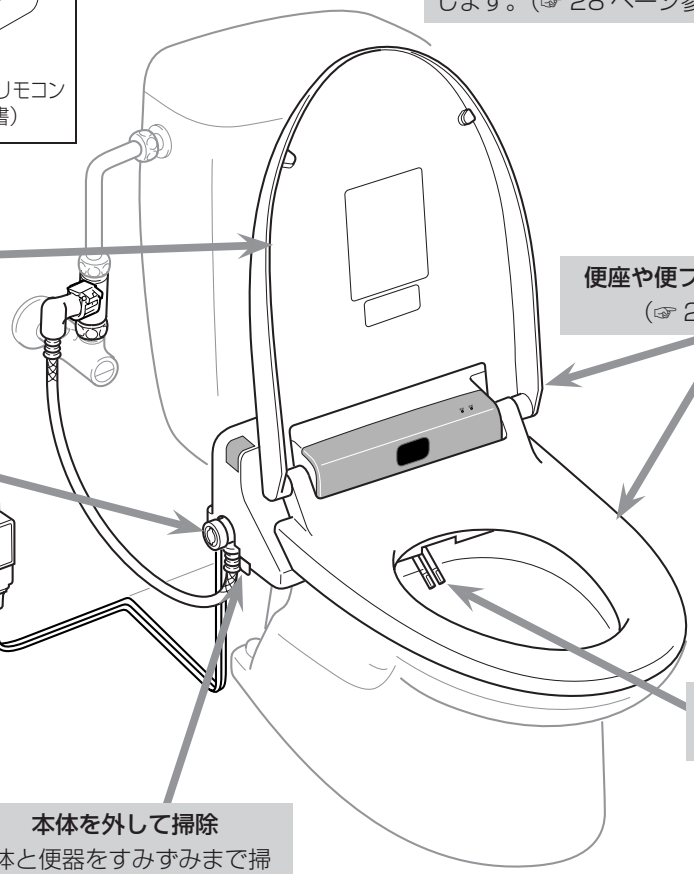


（☞ 27 ページ）



（☞インテリアリモコン取扱説明書）

脱臭カートリッジの掃除・交換〈脱臭付の場合〉
カートリッジのホコリを取り去ったり、交換します。（☞ 28 ページ参照）



便フタを外して掃除
便フタやヒンジ部を掃除します。（☞ 25 ページ参照）

便座や便フタ・カバー類の掃除
（☞ 24 ページ参照）

ストレーナーの掃除
ストレーナーに付着したゴミ等を取り除きます。（☞ 33 ページ参照）

電源プラグの点検
漏電保護作動を確認します。（☞ 34 ページ参照）

ノズルの掃除
（☞ 24 ページ参照）

本体を浮上させて掃除
本体と便器の間を掃除します。（☞ 29 ページ参照）

本体を外して掃除
本体と便器をすみずみまで掃除します。（☞ 31 ページ参照）

⚠ 警告

本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。
※ 感電・火災の恐れがあります。

⚠ 注意

プラスチック部のお手入れには、便座に使用できる洗剤以外 (トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール) は使用しないでください。
※ プラスチック部が割れてケガの原因になります。
※ 感電・火災の原因になります。

注意

お手入れをするときは、必ずリモコンの電源スイッチを押して、本体の電源ランプが消灯していることを確認してください。

※抗菌部位について
ノズル・便座・便フタ・カバーに抗菌樹脂を、リモコンには抗菌シートを採用しています。

※ KILAMIC 抗菌商品について

- KILAMIC 抗菌商品は , 商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、ホコリ・油膜等が表面を覆った場合には、十分な抗菌効果を発揮できないことがあります。
- KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、細菌が全くなくなるわけではありません。従って感染等が防げるわけではありません。
- 抗菌製品技術協議会の抗菌製品規格 SIAA *に適合した製品です。
  *：SIAA マークは、抗菌製品技術協議会の「安全性と抗菌性能などのガイドライン」に沿って品質管理された製品に表示されるマークであり、情報公開されています。

《日頃のお手入れ》

便座や便フタ・カバー類（プラスチック部）のお掃除のしかた

● **柔らかい布で水ぶきをしてください。**

汚れは放っておくと落ちにくくなりますので、固くしぼった柔らかい布でこまめに水ぶきをしましょう。また、水ぶきは静電気を防ぎます。静電気はホコリを引き寄せ、黒く汚れる原因になります。

● **お手入れには INAX 純正のシャワートイレお掃除クリーナーまたはトイレ用おそうじティッシュ（別売品）をおすすめします。**

市販の便座用洗剤が使用できますが、中には適さない製品があります。ご不明な点は洗剤メーカーに確認してから使用してください。

別売品の購入方法については 45 ページをご覧ください。

※ このシャワートイレは、便フタが簡単に外せます。（☞ 25 ページ参照）また、本体を浮かせたり（☞ 29 ページ参照）、本体を外して（☞ 31 ページ参照）、便器と本体の間も楽に掃除ができます。

注意 **乾いた布やトイレットペーパーでふかないでください。**

※ 傷つきの原因になります。

ノズルのお掃除のしかた

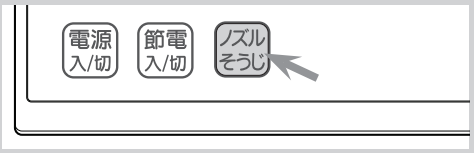
ノズルのお掃除には、以下の方法があります。

1. リモコンのノズル掃除スイッチを押して、水圧でノズルを洗浄します。**“リモコンノズル洗浄”**
2. しつこい汚れは、ノズルを指で引き出し、スポンジ等で掃除します。

1. リモコンノズル洗浄

リモコンのノズルそうじスイッチを押します。

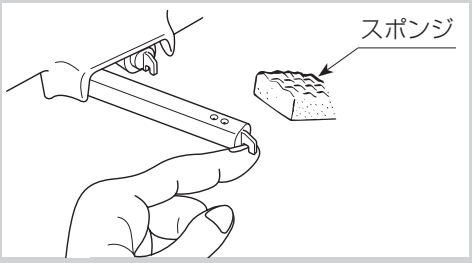
※ ノズルが本体に収納されたまま、約 3 秒間洗浄します。



2. スポンジ等での掃除

ノズルを指で引き出し、スポンジ等で掃除します。

※ ノズルを無理に引っ張ったり、曲げたりしないでください。



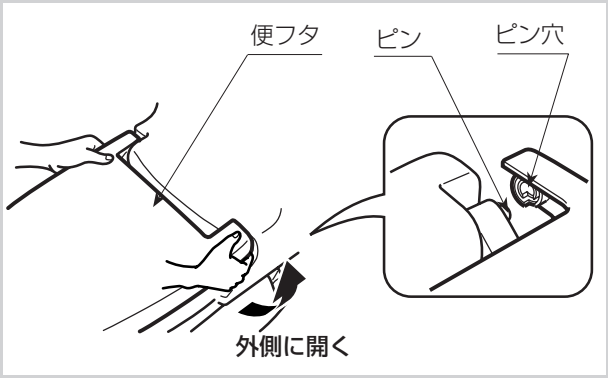
《便フタの外しかた（便フタまわりの隠れた部分の掃除）》

便フタは、簡単に外せます。普段、隠れているヒンジ部をお掃除する時や便フタを丸洗いするのに便利です。

■ CW-E43, E41, E40 型の場合

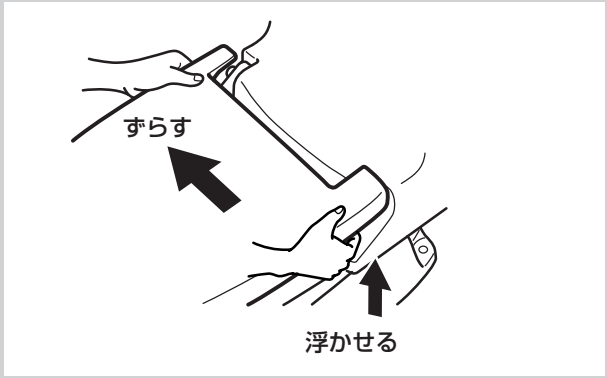
便フタの外しかた

1. 電源を「切」にします。
2. 便フタ右側のピン穴を外側に開いて、ピンから外します。



3. 便フタの右側を浮かせながら左側にずらし、便フタを外します。

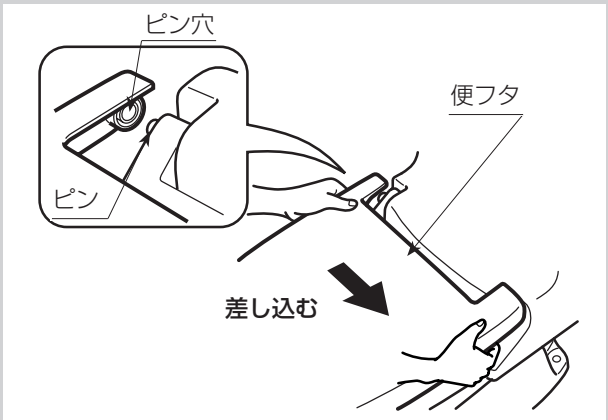
注意 強引に外そうとすると割れるなど破損の原因となります。



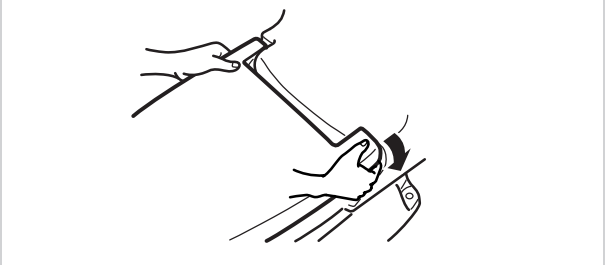
注意 **便フタを外したまま使用しないでください。**
※便フタを閉じた状態で外し、使用した場合は、おしり洗浄、ビデ洗浄、脱臭、乾燥の各機能が作動しません。

便フタの組み付けかた

1. 便フタ左側のピン穴と本体左側のピンを合わせて差し込みます。



2. 便フタ右側のピン穴を外側に開き、ピン穴とピンを合わせて、便フタを取り付けます。

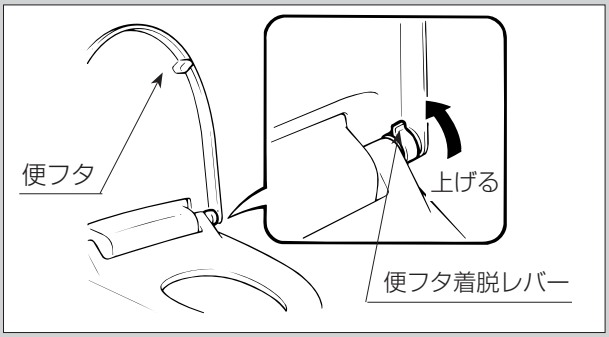


3. 電源を「入」にします。

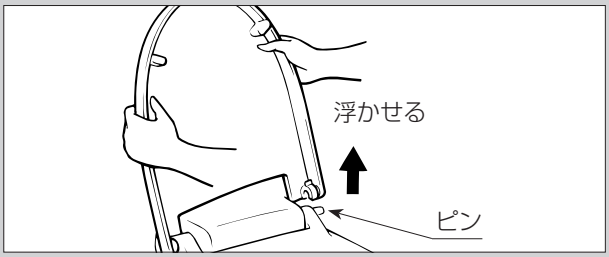
■ CW-E430, E410 型の場合

便フタの外しかた

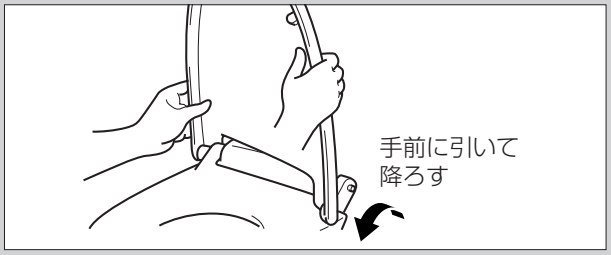
1. 電源を「切」にします。
2. 便フタを開け、便フタ着脱レバーを“カチッ”と音がするまで上げます。



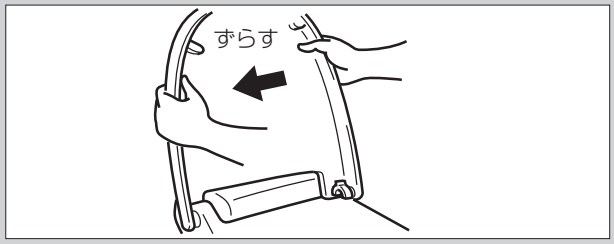
3. 便フタの右側を持ち上げ、便座のピンから浮かせます。



4. 便フタの右側を手前に引いて降ろします。



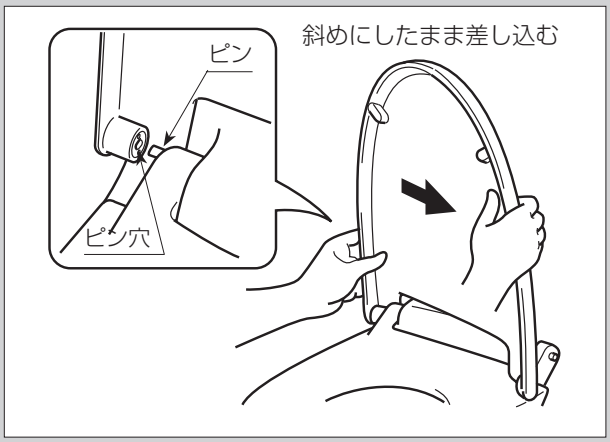
5. 便フタを左にずらして外します。



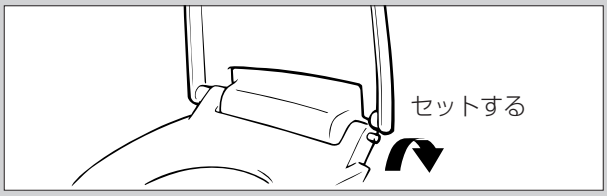
注意 ●便フタに無理な力を加えないでください。
※破損する恐れがあります。
●便フタを外した状態で便座を上げないでください。
※カバーや便座がキズ付く恐れがあります。

便フタの組み付けかた

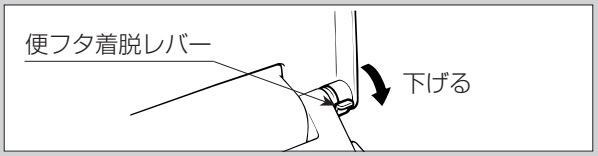
1. 便フタの右側が手前にくるように斜めにして、便フタ左側のピン穴と便座のピンを合わせて差し込みます。



2. 便フタの右側をピンにセットします。



3. 便フタ着脱レバーを“カチッ”と音がするまで下げます。



4. 電源を「入」にします。

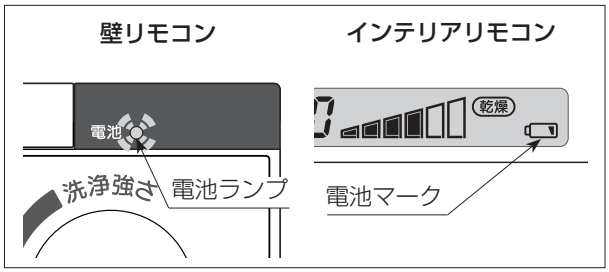
《リモコンの電池交換》

電池の寿命が近づくと、電池ランプ（壁リモコン）または電池マーク（インテリアリモコン）が点滅します。

※ 通常、**壁リモコンの場合、**電池ランプは消灯しています。
インテリアリモコンの場合、電池マークは表示していません。

※ 付属の電池は施工時の動作チェック用のため、寿命が短い場合があります。

※ リモコンが受光部と反対側の壁に設置してある場合、電池ランプまたは電池マークが点滅する前に使用できなくなる場合があります。



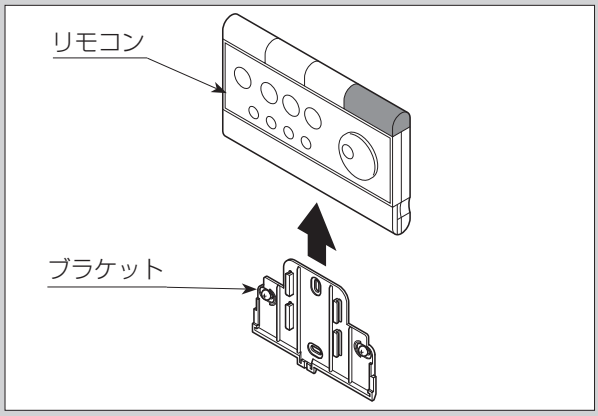
下記の要領で新しい電池に取り替えてください。

※ インテリアリモコンの電池交換は、インテリアリモコンに同梱の取扱説明書「リモコンの電池交換」をご覧ください。

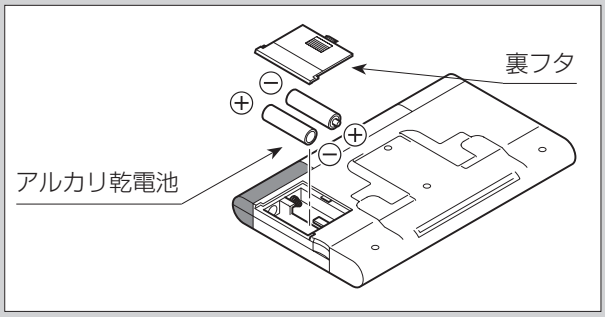
注意

- **電池のプラスとマイナスの向きをリモコンの表示通り正しく入れてください。**
- **新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。**
- **アルカリ乾電池を使用してください。**

1. リモコンを持ち上げて、ブラケットから外します。



2. 裏フタを外し、新しいアルカリ乾電池（1.5V 単三、2 本）に取り替えます。



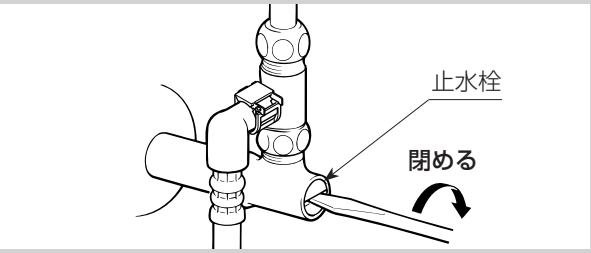
3. 裏フタを元通りにはめ、リモコンをブラケットに上から差し込みます。

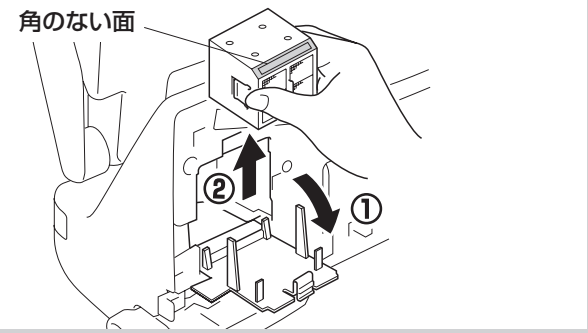
《脱臭効果が弱くなった場合》〈脱臭付の場合〉

脱臭カートリッジにホコリ等が付着すると十分な脱臭ができなくなります。ニオイが気になりだしたら、清掃してください。

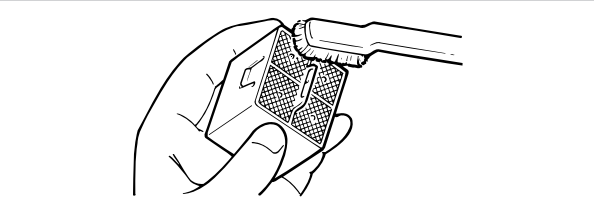
脱臭カートリッジのお手入れ方法

1. **電源プラグをコンセントから抜きます。**
2. **止水栓を閉めて給水を止めます。**
3. **温水タンクから水を抜きます。**
   (☞ 35 ページ参照)
4. **本体を便器から外します。**
   (☞ 31 ページ参照)
5. **本体底面にある、脱臭カートリッジを取り外します。**
   ① 脱臭カートリッジ取付口フタを開けます。
   ② カートリッジを外します。





6. **カートリッジのフィルターに付いているホコリ等を歯ブラシなどで取り除きます。**



注意 **脱臭カートリッジ本体は水洗いできませんのでご注意ください。**

7. **脱臭カートリッジを組み付けます。**
   脱臭カートリッジの向きに注意して取付口に差し込み、フタを閉めます。
8. **本体を便器に取り付けます。(☞ 32 ページ参照)**
9. **止水栓を開けて給水します。**
10. **電源プラグをコンセントに差し込みます。**

■脱臭カートリッジのお取り替えについて

清掃してもまだニオイが気になる場合、脱臭カートリッジの寿命ですので、新品と交換してください。
脱臭カートリッジの寿命は、通常使用で約 7 年です。

※ 脱臭カートリッジの寿命は、4 人家族（男性 2 人、女性 2 人）の平均使用時間を基本としています。

まずシャワートイレ使用開始日を右の日付記入欄に記入し、脱臭カートリッジ交換の目安としてください。
次回脱臭カートリッジを交換する場合は、脱臭カートリッジにある日付ラベルに使用開始日を記入してください。

シャワートイレ使用開始日をご記入ください。

年　　月　　日

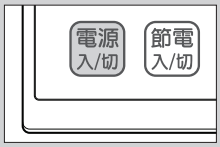
※ お取替用の脱臭カートリッジのお求めは、45 ページ“別売品の購入方法”をご覧ください。

《本体を浮かせて掃除します／お掃除スライドアップ》

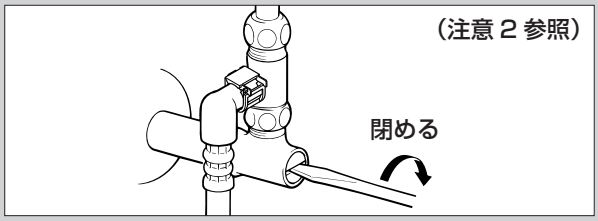
簡単に本体を浮かせて、便器と本体の間がお掃除できます。日頃の汚れを手軽に掃除したい時に便利です。

1．本体の浮かせかた

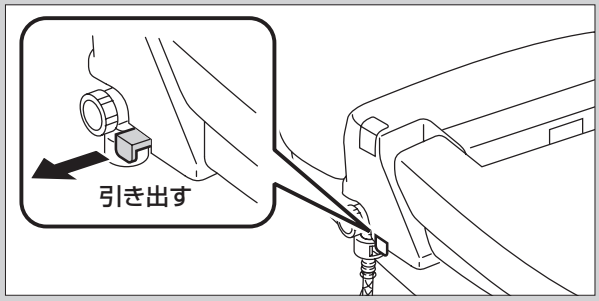
1. 電源スイッチを押して、電源を切ります。
（注意 1 参照）



2. 止水栓を閉めて給水を止めます。

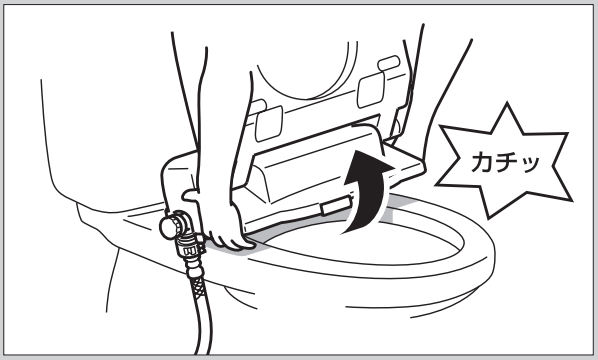


3. ロックレバーを引いてロックを解除します。

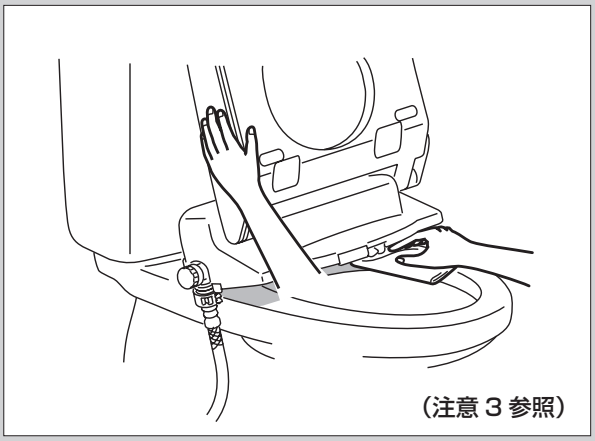


4. 本体を一番手前までスライドさせます。
※ 本体を完全に手前にスライドさせないと、浮かせることはできません。

5. 便座・便フタを開け、本体手前側をロックするまで静かに浮かせます。（カチッと音がするまで浮かせます。）
※ 便フタがタンクに強く当たらないようにゆっくり持ち上げてください。



6. 便座を支えながら、便器と本体の間を掃除します。
※ 便器の掃除は、便器の取扱説明書をご覧ください。

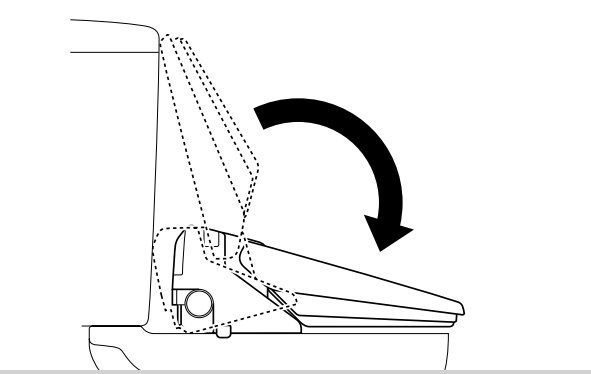


注意

1. 電源を切ってからスライドしてください。
※故障の原因になります。
2. 止水栓は調整してありますので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。
3. 本体が倒れて指を挟まないようにお掃除する時は、便座を支えながら行ってください。

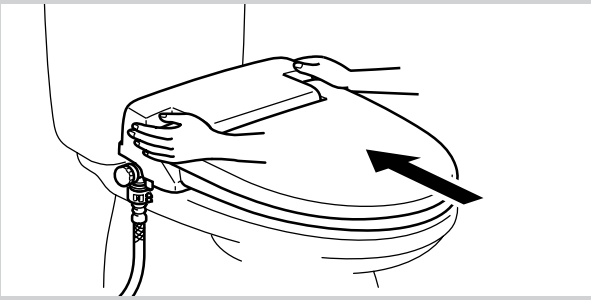
2．本体の戻しかた

1. 便座・便フタをゆっくり降ろしながら本体を戻します。



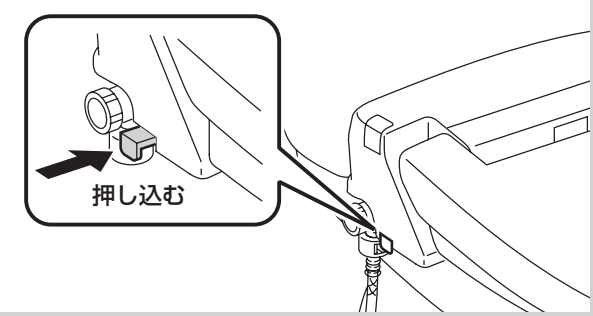
2. 本体を奥までスライドさせます。

※ 本体を完全に奥までスライドさせないと使用時、本体がぐらついたり、便器から外れることがあります。



3. ロックレバーを押し込んで、便座をロックさせます。

※ ロック後、本体をかるく前後左右に揺らして、確実に固定されていることを確認してください。



4. 止水栓を元の位置まで開き、給水します。

※ 各部に漏水がないか確認します。

5. 電源スイッチを入れます。

6. 最後に必ず試運転を行ってください。

（☞ 8、9 ページ）

注意

本体が確実に固定されていること（ロックレバーが確実に押し込まれていること）を確認してください。

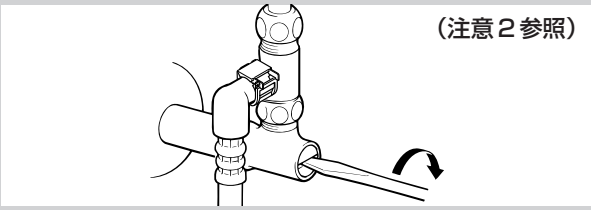
※ ロックレバーが押し込まれていないと、本体がぐらつきます。

《本体を外して掃除します／本体スライド着脱》

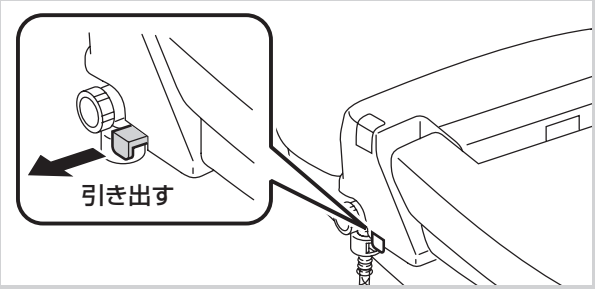
本体を外して、便器全体および本体の裏側がお掃除できます。細かいところまでしっかりと掃除したい時に便利です。

1．本体の外しかた

1. 電源プラグをコンセントから抜きます。
（注意 1 参照／次ページ）
2. 止水栓を閉めて給水を止めます。

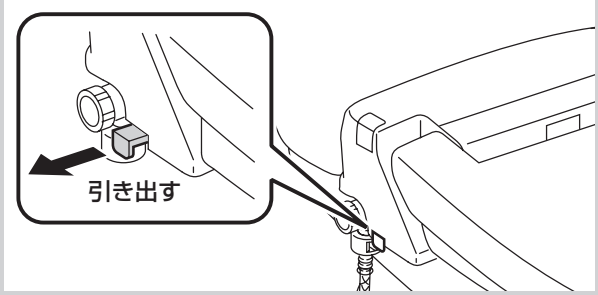


3. ロックレバーを引いてロックを解除します。

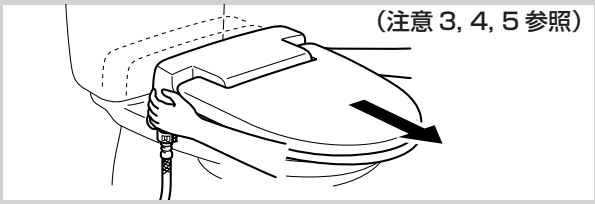


4. 本体を一番手前までスライドさせます。
※ このとき、ロックレバーが戻ります。

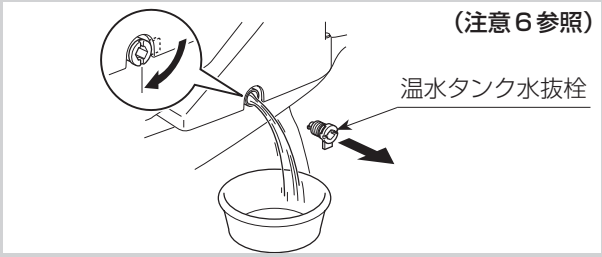
5. 再度、ロックレバーを引きます。



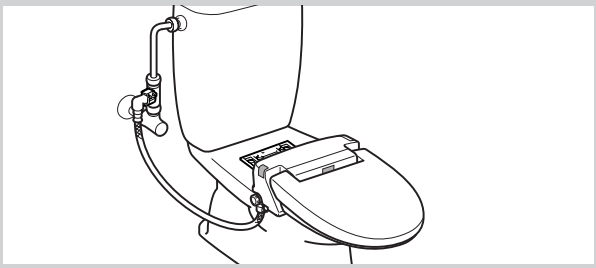
6. 本体を手前にスライドさせて便器から外します。



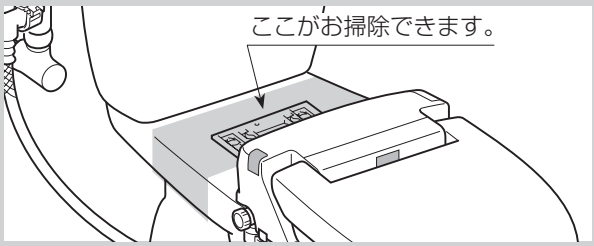
7. 温水タンク水抜栓を外して、温水タンクから水を抜きます。
工具を使って、水抜栓を時計方向に 90 ˚ 回して外します。



8. 本体を便器リム部に静かに置きます。

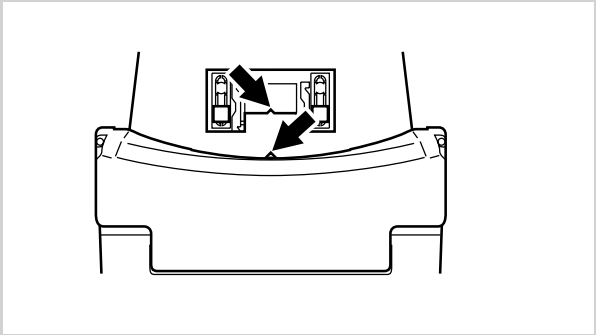


9. 本体のお掃除は、柔らかい布で水ぶきしてください。
※ 便器の掃除は、便器の取扱説明書をご覧ください。

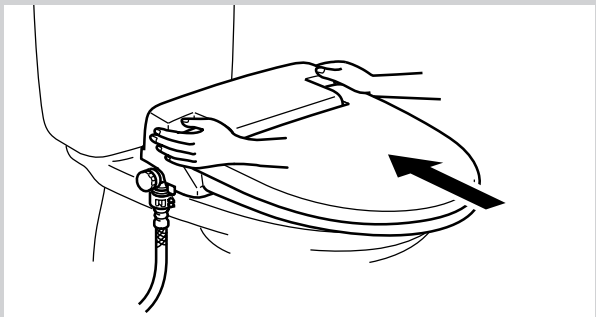


2．本体の組み付けかた

1. シャワートイレ本体を便器の上に置き、本体着脱プレートの切り欠き部と本体背面部にある凸部を合わせます。

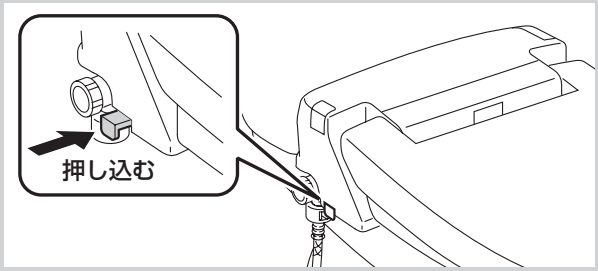


2. 本体をゆっくりと、奥に突き当たるまで押し込みます。



3. ロックレバーを押し込んで、便座をロックさせます。

※ ロック後、本体をかるく前後左右に揺らして、確実に固定されていることを確認してください。



4. 止水栓を元の位置まで開き、給水します。

※ 各部に漏水がないか確認します。

5. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

6. 最後に必ず試運転を行ってください。

（☞ 8、9 ページ）

注意

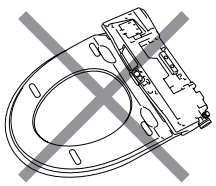
本体が確実に固定されていること（ロックレバーが確実に押し込まれていること）を確認してください。

※ ロックレバーが押し込まれていないと、本体がぐらつきます。

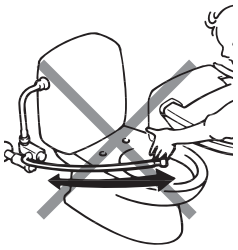
注意

1. 電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。
   ※故障の原因になることがあります。
2. 止水栓は調整してありますので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。
3. コード類や本体給水ホースを引っぱらないでください。
   ※破損や漏水の恐れがあります。
4. 本体の取外し時や清掃時には、ていねいに扱ってください。
   ※漏水・故障の原因となります。
5. 本体は、絶対に裏返さないでください。また床に置かないでください。
   ※故障の原因になります。
6. 温水タンクの水は必ず抜いてください。
   ※温水タンク内に水が入っていると漏電の恐れがあります。

●裏返さないで！
●床に置かないで！



●引っぱらないで！



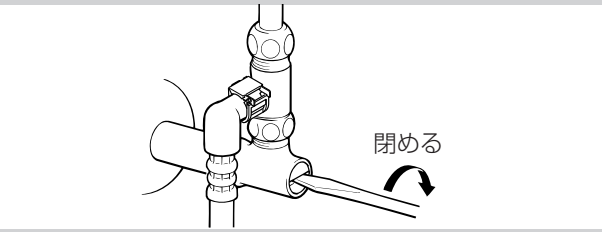
《シャワーが弱くなってきたなと思ったら》

シャワートイレを長期間使用してシャワーの勢いが弱くなりはじめたら、以下の手順でストレーナーの掃除を行ってください。（目安としては 2 年に 1 回程度です。）

ストレーナーの掃除方法

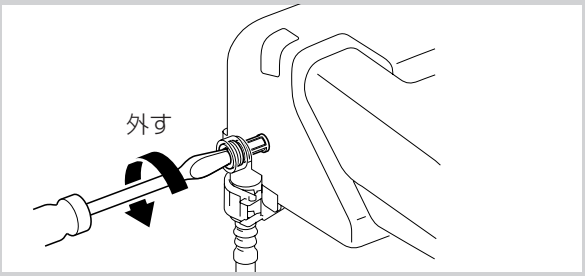
1. 止水栓を閉めて、給水を止めます。

※ 止水栓は調整してありますので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。



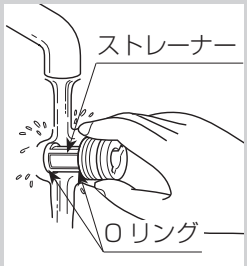
2. 工具を使って、本体左下のストレーナーを回して外します。

※ このとき少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。

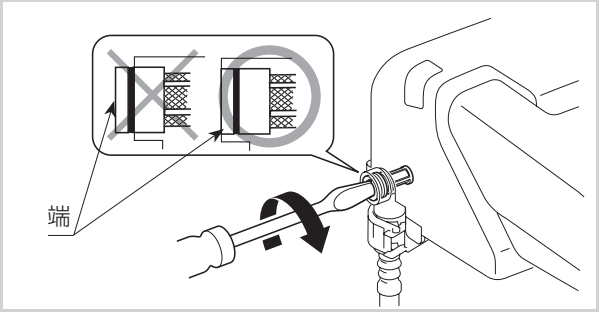


※ 工具を使用するスペースがない場合は、本体を便器から取り外してストレーナーを外します。（☞ 31 ページ）

3. ストレーナー部やＯリング部に付いているゴミを水洗いして、完全に取り除きます。



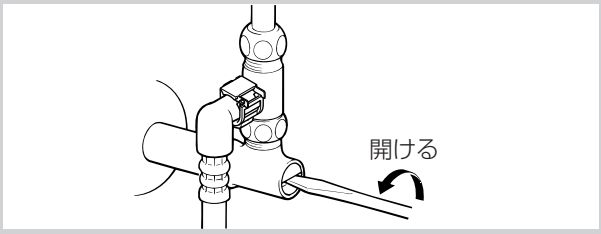
4. ストレーナーを工具で確実に取り付けます。



※ ストレーナーの端が本体に隠れるまで締め付けます。

※ 本体を便器から外した場合、元に戻します。（☞ 32 ページ）

5. 止水栓を元の位置まで開きます。



6. 最後に必ず試運転を行ってください。（☞ 8、9 ページ）

⚠ 注意

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、ストレーナーの端が本体に隠れるまでしっかり締めてください。
- ゴミが Ｏリングに付着した状態で取り付けないでください。
  ※漏水し、室内浸水の原因になります。

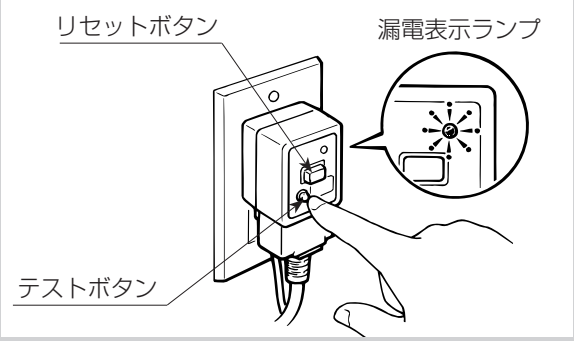
指示実行

《電源プラグ（漏電保護機能付）の点検》

電源プラグの故障は、思わぬ事故につながることがあります。必ず点検を行ってください。
（目安としては月に 1 ～ 2 回程度です。）

電源プラグの点検方法

1. **電源スイッチを押して「入」にし、本体表示部の電源ランプの点灯を確認します。**
2. **電源プラグのテストボタンを押して、漏電表示ランプが点灯することを確認します。**
3. **リセットボタンを押して漏電表示ランプが消灯することを確認します。**



注意 電源プラグを差し直す時は、10 秒程度時間をあけてください。

《定期的な点検のお願い》

逆流防止装置 (バキュームブレーカー) の点検の目安は、取付けの日から 6 年後です。

有料となりますが、定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。
逆流防止装置 (バキュームブレーカー) の点検は、㈱ INAX メンテナンスまでご依頼ください。

（株）INAXメンテナンス

TEL 0120-1794-11
受付時間9:00～22:00（365日受付＆修理）
FAX 0120-1794-56
ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

㈱ INAX メンテナンスにご依頼した場合、点検料金の内訳は、点検料（技術料）＋出張料＋部品代（交換した場合）です。

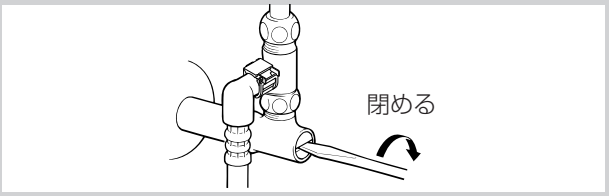
長期間使用しない場合

以下の場合は水抜きを必ず行ってください。

- 旅行などで長い間、シャワートイレを使用しないとき（水が汚れて詰まりの原因になります）。
- 別荘などで使用しないとき（冬期、冷え込みが厳しいと、シャワートイレ内の水が凍って破損し、漏水する恐れがあります）。

1. 止水栓を閉めて、給水を止めます。

※ 止水栓は調整してありますので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。

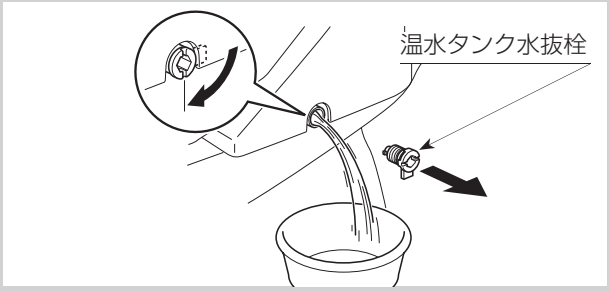


2. 洗浄ハンドルを操作して、タンク内の水を抜きます。

3. 電源プラグをコンセントから抜きます。

4. 温水タンク水抜栓を外して、温水タンクから水を抜きます。

工具を使って、水抜栓を時計方向に 90˚ 回して外します。



5. 水抜き完了後、水抜栓を取り付けます。

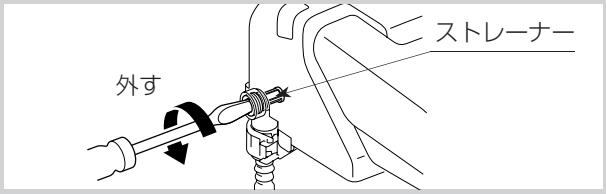
工具を使って、反時計方向に 90˚ 回して確実に取り付け直します。

6. 本体給水ホースから水を抜きます。

① 本体を便器から取り外します。(☞ 31 ページ)

② ストレーナーの下に洗面器等を置きます。

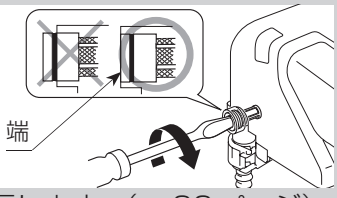
③ 工具を使ってストレーナーを外し、ストレーナー部や O リング部に付いているゴミを水洗いして、完全に取り除きます。



④ 本体を傾けてストレーナー取付口から、本体給水ホース内の水を抜きます。

⑤ 水抜き完了後、工具でストレーナーをしっかりと締め付けます。

ストレーナーの端が本体に隠れるまで締め付けます。



⑥ 本体を便器に戻します。(☞ 32 ページ)

7. 再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。(☞ 8、9 ページ)

⚠ 注意

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、ストレーナーの端が本体に隠れるまでしっかり締めてください。
- ゴミが O リングに付着した状態で取り付けないでください。

※漏水し、室内浸水の原因になります。

指示実行

■もし凍結してシャワーが出なくなったら

万一、本体給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布等で、本体給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

注意

- **本体給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。**
  ※本体給水ホースが破損する恐れがあります。
- **凍結箇所によっては、解凍中に水が噴出することがあります。解凍中は、本体や給水ホースを注視してください。**

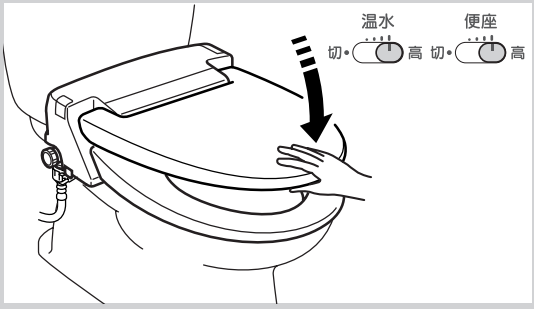
冬期凍結の恐れがある場合

冬期、冷え込みが厳しいと、シャワートイレ内の水が凍って破損し、漏水する恐れがあります。凍結破損を防止するために必ず水抜きを行ってください。
電源プラグはコンセントから抜かず、電源を入れておいてください。また、節電機能は解除してください。

一般的な凍結防止方法

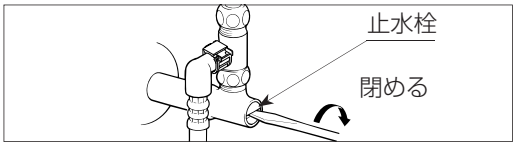
1. **便座スイッチと温水スイッチを「高」にして便フタを閉じます。**
   節電を行っている場合は、節電を解除します。
2. **室内を暖房します。**
   トイレ室内を暖房します。

※もし室内が暖房できない場合は、下記の手順で本体給水ホースから水を抜いてください。

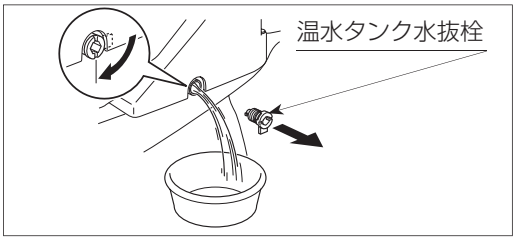


■本体給水ホース・本体内からの水抜き方法

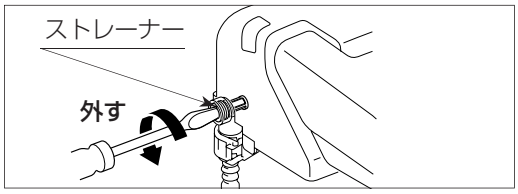
1. **止水栓を閉めて、給水を止めます。**
   ※ 止水栓は調整してありますので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。



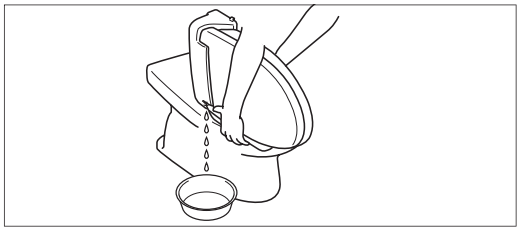
2. **電源プラグをコンセントから抜きます。**
3. **温水タンク水抜栓を外して、温水タンクから水を抜きます。**
   工具を使って、水抜栓を時計方向に 90゜回して外します。



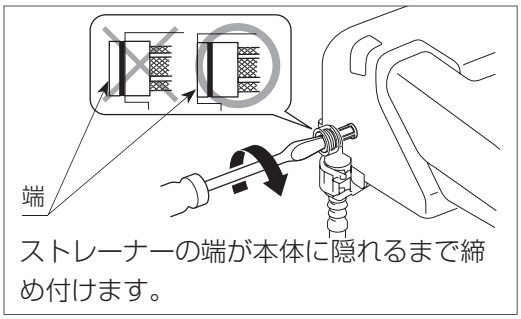
4. **水抜き完了後、水抜栓を取り付けます。**工具を使って、反時計方向に 90゜回して確実に取り付け直します。
5. **本体給水ホースから水を抜きます。**
   ① 本体を便器から取り外します。（☞ 31 ページ）
   ② ストレーナーの下に洗面器等を置きます。
   ③ 工具を使ってストレーナーを外し、ストレーナー部や O リング部に付いているゴミを水洗いして、完全に取り除きます。



   ④ 本体を傾けてストレーナー取付口から、本体給水ホース内の水を抜きます。



   ⑤ 水抜き完了後、工具でストレーナーをしっかりと締め付けます。
   ⑥ 本体を便器に戻します。（☞ 32 ページ）

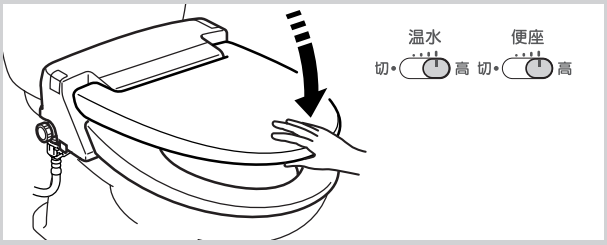


ストレーナーの端が本体に隠れるまで締め付けます。

6. **再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。（☞ 8、9 ページ）**

流動式タイプ便器を使用している場合の凍結防止方法

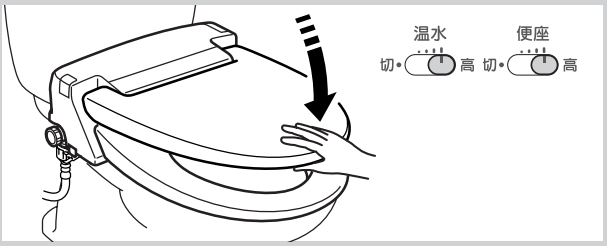
1. **便座スイッチと温水スイッチを「高」にして便フタを閉じます。**
   節電を行っている場合は、節電を解除します。



2. **室内を暖房します。**
3. **便器本体の流動ハンドルを操作します。**
   便器本体の流動ハンドルを操作して、タンク内の水が絶えず便器内に流れるようにします。

水抜式タイプの便器を使用している場合の凍結防止方法

1. **便座スイッチと温水スイッチを「高」にして便フタを閉じます。**
   節電を行っている場合は、節電を解除します。



2. **室内（便器）の水抜栓を操作して、配管内の水を抜きます。**
3. **洗浄ハンドルを操作して、タンク内の水を抜きます。**
4. **前ページの「本体給水ホース・本体内からの水抜き方法」にしたがって水を抜いてください。**
5. **再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。**（☞ 8、9 ページ）

⚠ 注意

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、ストレーナーの端が本体に隠れるまでしっかり締めてください。
- ゴミが O リングに付着した状態で取り付けないでください。
  ※漏水し、室内浸水の原因になります。

■もし凍結してシャワーが出なくなったら

万一、本体給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布等で、本体給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

注意

- **本体給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。**
  ※本体給水ホースが破損する恐れがあります。
- **凍結箇所によっては、解凍中に水が噴出することがあります。解凍中は、本体や給水ホースを注視してください。**

修理を依頼される前に

《故障かなと思ったら》

簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。
確認しても故障が直らない場合は、お求めの取扱店または（株）INAX メンテナンスにご相談ください。
※「★」マークは、インテリアリモコンを使用している場合の参照先です。インテリアリモコンの取扱説明書をご覧ください。

全機能

現　　象	原　　因	処　　置
すべての機能が動作しない（電源ランプが点灯しない）	電源コンセントに電気がきていますか。	停電、ブレーカーなどを確認します。
	電源スイッチが「切」（電源ランプ消灯）になっていませんか。	電源スイッチを押して、表示部の電源ランプを点灯させます。（☞ 11 ページ）
	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。	電源プラグを完全に差し込みます。 電源プラグを差し直す時は、10 秒程度時間をあけてください。（☞ 9 ページ）
	漏電していませんか。（漏電表示が点灯している。）	電源プラグのリセットボタンを押します。（☞ 34 ページ）それでもランプが点灯するようであれば漏電していますので、**電源プラグを抜き、修理を依頼してください。**
リモコンのスイッチを押しても動作しない（電源ランプは点灯している）	便フタを（閉じた状態で）外していませんか。	便フタを開けた状態で再度外してください。（☞ 25 ページ）
	リモコンの電池が消耗していませんか。（電池ランプ点滅*）	新しい電池に交換します。（☞ 27 ページ、「★リモコンの電池交換」）
	リモコン内の電池の⊕⊖の方向が間違っていませんか。	正しい方向に入れます。（☞ 27 ページ、「★リモコンの電池交換」）
	リモコンの送信部、または受光部が汚れているか、水が付いていませんか。	汚れや水を取り除きます。
	インバータ照明を使用していませんか。	照明を消して動作を確認してください。

＊：リモコンが受光部と反対側の壁に設置してある場合、電池ランプまたは電池マークが点滅する前に使用できなくなる場合があります。

おしり・ビデ洗浄

現　　象	原　　因	処　　置
シャワーが出ない（次ページへつづく）	止水栓が閉じていませんか。	止水栓を左に回します。（☞ 8 ページ）
	ストレーナーが目詰まりしていませんか。	ストレーナーの掃除をします。（☞ 33 ページ）
	水道圧が低くないですか。洗浄強さダイアルが最弱付近になっていませんか。	洗浄強さダイアルを「強」側に回します。（☞ 12 ページ、「★おしり・ビデ洗浄」）
	着座センサーが入っていますか。	便座に深く座るなど、座りかたを変えます。（☞ 26 ページ）

おしり・ビデ洗浄（つづき）

現　　象	原　　因	処　　置
シャワーが出ない (前ページより)	着座センサーが検知しにくい衣服を着ていませんか。	着座センサーに手などをかざします。 (☞ 22 ページ)
	温水タンクが満水になっていますか。	試運転を行います。(☞ 8、9 ページ)
シャワーが温かくない	温水温度が適切に調節してありますか。	温水スイッチを入れ、適当な温度に調節します。(☞ 11 ページ、「★温水」)
	長時間洗浄しましたか。	約 10 分で温かくなります。(☞ 22 ページ) 貯湯式のため、おしり（ビデ）の使用時間に応じてシャワーの温度が低下しますが、異常ではありません。
	節電中ではありませんか。	節電を解除します。 (☞ 17 ページ、「★節電」)

温風乾燥

※機種によっては、この機能がない場合があります。

現　　象	原　　因	処　　置
温風が出ない	着座センサーが入っていますか。	便座に深く座るなど、座りかたを変えます。 (☞ 22 ページ)
	着座センサーが検知しにくい衣服を着ていませんか。	着座センサーに手などをかざします。 (☞ 22 ページ)
温風が暖かくない	乾燥温度が適切に調節されていますか。	乾燥スイッチを押し、適当な温度に調節します。(☞ 15 ページ、「★乾燥」)
		使用条件により温度の感じ方に差がでる場合があります。温風温度は国際電気標準会議 (IEC) 基準に準拠しています。 (IEC:International Electrotechnical Commission)
温風が途中で止まる	4 分以上使っていませんか。	再度、乾燥スイッチを押します。 (☞ 15 ページ、「★乾燥」)

暖房便座

現　　象	原　　因	処　　置
便座が暖かくない	便座温度が適切に調節されていますか。	便座温度スイッチを押し、適当な温度に調節します。(☞ 11 ページ、「★便座」)
	節電中ではありませんか。	節電を解除します。 (☞ 17 ページ、「★節電」)
長く座っていると便座がぬるくなる	便座ヒーターオート OFF 機能が働いていませんか。	便座ヒーターオート OFF 機能を解除します。 (☞ 19 ページ、「★より快適な機能」)

脱臭

※機種によっては、この機能がない場合があります。

現　象	原　因	処　置
脱臭ファンが回りっぱなしになる	着座センサーに紙が張りっぱなしになっていませんか。	着座センサーの紙を取り除きます。
	不適切な布カバーを使用していませんか。（着座センサーに布が掛かっていませんか。）	布カバーを外して使用するか、当社指定の布カバーを使用してください。 （☞ 45 ページ）
脱臭ファンが回らない	脱臭が「切」にセットしてありませんか。	脱臭を「入」にします。 （☞ 16 ページ、「★脱臭」）
脱臭効果が弱くなった（ニオイが気になる）	脱臭カートリッジにホコリ等が付着していませんか。	脱臭カートリッジを掃除してください。 （☞ 28 ページ）
	脱臭カートリッジが寿命ではありませんか。	脱臭カートリッジを交換します。 （☞ 28 ページ）

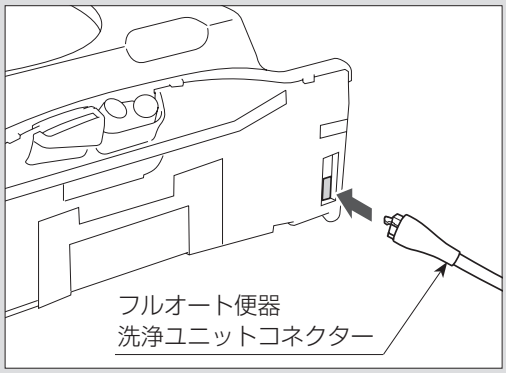
フルオート便器洗浄

※機種によっては、この機能がない場合があります。

現　象	原　因	処　置
自動便器洗浄時： ● 自動で動かない ●「大」・「小」時、逆方向に動く ● 動作中に異音がする	自動便器洗浄スイッチが「切」になっていませんか。	自動便器洗浄スイッチを「入」にします。 （☞ 18 ページ、「★フルオート便器洗浄」）
	自動便器洗浄ユニットのコードが外れていませんか。	コネクターを接続します。（下記参照）
	フルオート便器洗浄の設定（モード）が便器に合っていない。	「フルオート便器洗浄ユニット」の施工説明書をご覧になって、モードの設定変更をするか、お求めのシャワートイレ取扱店に連絡してください。

■フルオート便器洗浄ユニットコネクターの接続方法〈フルオート便器洗浄ユニット付の場合〉

1. 電源を「切」にします。
2. 本体をスライド着脱で便器から外し、便器の上に立てます。（☞ 31 ページ）
3. シャワートイレ本体底部の右側にあるコネクターにフルオート便器洗浄ユニットコネクターを接続します。
4. 本体を横に寝かせて、便器に取り付けます。（☞ 32 ページ）
5. 電源を「入」にします。

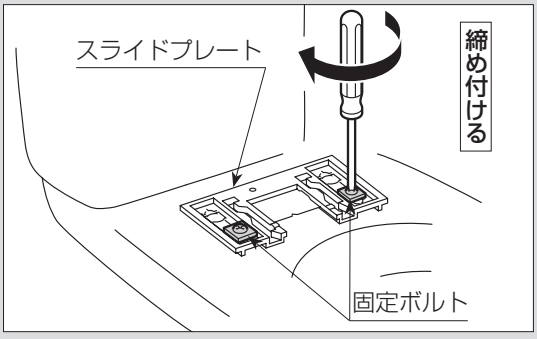


その他

現　　象	原　　因	処　　置
本体がガタつく、ずれる	ロックレバーを押して本体をロックしていますか。	ロックレバーを押し込んで本体をロックさせます。（☞ 32 ページ）
	スライドプレートがゆるんでいませんか。	スライドプレートの固定ボルトをプラスドライバーで締め付け直します。（下記参照）
本体から゛グググッ〞と音がする ●電源プラグをコンセントに差し込んだとき ●電源スイッチを入れたとき ●おしり・ビデ洗浄を止めたとき		故障ではありません。 シャワートイレが正常に作動するためにモーターが動いている音です。洗浄強さの調節や洗浄位置の調節に、異常がなければ問題ありません。
電源ランプが点滅している	温水・便座のいずれかの機能に不具合が生じている。 または点検時期が来ている。	**電源スイッチを「切」にしても点滅している場合は、故障していますのでコンセントから電源プラグを抜いて修理を依頼してください。** **電源スイッチを「切」にして消灯する場合は、点検時期ですのでお早めに点検をお受けください。**
	止水栓が閉まっている等により、通水状態になっていない。	止水栓を開ける等、通水できる状態にしてください。
便座裏側にある後ろ足（奥の出っぱり）が便器に着いていない（浮いている）		**故障ではありません。** **後ろ足（奥側の出っぱり）は浮く設計になっていますので、そのままご使用ください。**
お買い上げ時の設定に戻したいとき	〈より快適な機能〉で変更した機能を、全てお買い上げ時の設定に戻します。	**「おしり」、「温水温度」「便座温度」スイッチ３つを同じタイミングで２秒以上押し続けてください。** （☞ 20 ページ、「★より快適な機能」）

■スライドプレート固定方法

1. 本体をスライド着脱で便器から外します。（☞ 31 ページ）
2. プラスドライバーを使って、スライドプレート内にある２本の固定ボルトを上から押すようにして締め付けます。
3. 本体を元に戻します。（☞ 32 ページ）



アフターサービス

1. 修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かなと思ったら」（38 ページ）を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの取扱店または (株)INAX メンテナンスにご相談ください。
なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

- ●取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合
- ●コードの傷みやコンセントのガタツキ
- ●コンセントや電源プラグ、コードの過熱

上記の場合、そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。

■他社製タンクにフルオート便器洗浄ユニットを取り付けている場合

タンク内の部品による不具合・故障において、フルオート洗浄ユニット以外の部品が原因の場合、保証の対象外となります。

※ フルオート便器洗浄ユニットとは、自動便器洗浄するためのユニットであり、洗浄ハンドルからモーター部、ハンドルレバーまでを示します。それ以外の部品（鎖・フロートゴム等）は、保証の対象外となります。

⚠ 警告

- ●シャワートイレ本体・電源プラグ・コードが故障（異音・異臭・発煙・高温・割れ）した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、修理を依頼してください。
  ※ 感電・火災の原因になります。
- ●シャワートイレ本体および給水部から漏水した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉めてください。
  ※ 感電・火災・室内浸水の原因となります。

⚠ 警告

修理技術者以外の人は、分解したり修理・改造は行わないでください。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。

2. 保証書をご覧ください

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。
記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から 2 年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼されるとき

■保証期間中の修理

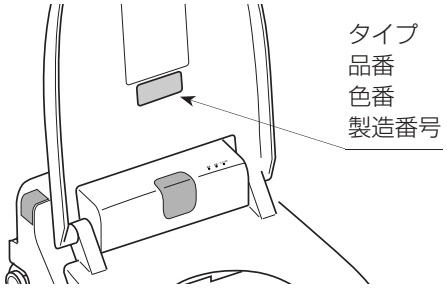
修理に際しては、必ず保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

■連絡していただきたい内容

1. ご住所・ご氏名・電話番号
2. タイプ・品番・色番・製造番号
   （便フタ裏側の品番シールをご覧ください。）
3. ご購入日（保証書をご覧ください。）
4. 故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）
5. 訪問ご希望日

■保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
料金の内訳は、技術料＋出張料＋部品代です。



4. 補修用性能部品の最低保有期間

シャワートイレの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後 6 年です。保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承願います。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 定期点検のおすすめ

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

- ●バキュームブレーカーは、必ず、6 年ごとに点検を行ってください。
- ●ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買上げより 3 年たったもの
- ●温泉地域および海岸付近など、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの
- ●長期間のご使用により電源ランプが点滅（定期点検時期のお知らせ）したら

定期点検については、㈱ INAX メンテナンスまでご相談ください。

点検料金の内訳は、点検料（技術料）＋出張料＋部品代（交換した場合）です。

6. 商品についての使いかた・お手入れ方法等のお問合わせは

(株)INAX「お客さま相談センター」

TEL 0120-1794-00
FAX 0120-1794-30

受付時間　平日　　9:00～19:00
　　土日・祝日10:00～18:00（夏期、年末年始の休みは除く）

7. 商品についての修理のご依頼は

お求めの取扱店または
(株)INAXメンテナンス

TEL 0120-1794-11
受付時間9:00～22:00（365日受付＆修理）
FAX 0120-1794-56

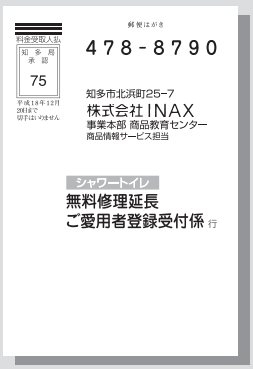
ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

■ 5 年間保証について

通常、保証期間は 2 年間ですが、「ご愛用者登録」されますと、無料でさらに 3 年間延長され、計 5 年間保証になります。

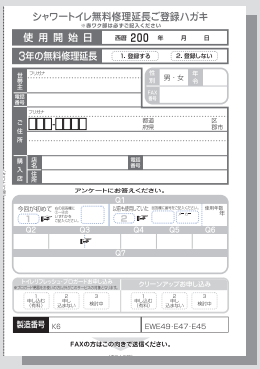
同梱の「ご愛用者登録ハガキ」に必要事項を記入し、アンケートにお答えいただいて郵送または FAX してください。

※ 一般家庭以外（事務所、病院など不特定多数の方が使用される場所）のご使用は、保証の対象外です。


料金受取人払
知多局承認
75
平成18年12月28日まで切手はいりません

郵便はがき
478-8790
知多市北浜町25-7
株式会社 INAX
事業本部 商品教育センター
商品情報サービス担当

シャワートイレ
無料修理延長
ご愛用者登録受付係 行


シャワートイレ無料修理延長ご登録ハガキ
※曲りクセ直は必ずご記入ください
使用開始日　西暦 200　年　月　日
3年の無料修理延長　1. 登録する　2. 登録しない
アンケートにお答えください。
製造番号　EWE49-E47-E45
FAXの方はこの向きで送信ください。

仕 様

品番			CW-E43・E430 型	CW-E41・E410 型	CW-E40 型
最大定格			AC100V、409W、50/60Hz	AC100V、349W、50/60Hz	
給水方式			水道直結式		
使用水道圧範囲			0.06 ～ 0.75MPa		
リモコン	壁リモコン		電源：単三アルカリ乾電池 2 本使用		
	インテリアリモコン		電源：単三アルカリ乾電池 2 本使用		—
商品寸法			CW-E43・E41・E40 型：幅 425mm ×奥行 556mm ×高さ 151mm CW-E430・E410 型：幅 425mm ×奥行 536mm ×高さ 151mm		
商品質量			約 4.0kg		
カラー対応			7 色対応：BW1,BN8,BU8,BB7,LR8,SN7,SG6		
洗浄	温水タンク・容量		貯湯式：0.90L		
	ノズル		おしり・ビデ専用オートスライド式		
	ノズル穴	おしり洗浄	φ 1.3 × 2 ヶ		
		ビデ洗浄	φ 0.9 × 4 ヶ、φ 1.1 × 3 ヶ		
	最大流量	おしり洗浄	0 ～ 0.9L/ 分		
		ビデ洗浄	0 ～ 0.9L/ 分		
	温水ヒーター容量		300W		
	温水タンク内制御温度		切（水温）・低（約 36℃）・中（約 38℃）・高（約 40℃）		
	安全装置		温度ヒューズ・高温感知スイッチ・空焚き検知回路		
温風乾燥	風量		0.3m³/ 分	—	
	温風ヒーター容量		360W	—	
	温風温度調節		低（室温）・中・高	—	
	安全装置		温度ヒューズ	—	
暖房便座	ヒーター容量		45W		
	表面温度		切（室温）・低（約 28℃）・中（約 36℃）・高（約 40℃）		
	温度調節		4 段階切替（マイコン制御）		
	安全装置		温度ヒューズ		
脱臭	脱臭方式		脱臭カートリッジによる化学吸着方式		—
	脱臭能力		フルパワー脱臭時：0.14m³/ 分、パワー脱臭時：0.11m³/ 分		—
	脱臭カートリッジ寿命		約 7 年		—
節電機能			スーパー節電（24 時間節電）、ワンタッチ節電（8 時間後自動復帰）		
電源コード			有効長さ 1.2m（漏電保護機能、アースコード付き）		
その他の機能			●着座センサー ●便座・便フタスローダウン ●電源スイッチ（リモコン） ●本体スライド着脱 ●フルオート便器洗浄 (E43Q,E41Q,E430,E410) ●大型兼用便座 (E43・E41・E40 型) ●上面施工 ●便フタワンタッチ着脱 ●お掃除スライドアップ		

注意 この商品は、日本国内向け仕様です。海外での使用は、おやめください。

別売品のご案内

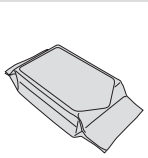
INAX では、快適なトイレ空間造りのお手伝いとして、シャワートイレのメンテナンス用品をはじめとする、数々の別売品を用意しております。

別売品について

■トイレ用おそうじティッシュ（品番：CWA-36）

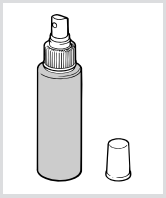
プラスチックを傷めず、除菌効果に優れたトイレ専用ウェットティッシュです。使用後、便器にそのまま流せます。（☞ 24 ページ）

※ 環境にやさしい牛乳パック再生紙使用。



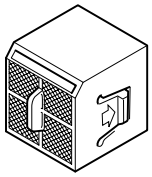
■シャワートイレお掃除クリーナー（品番：CWA-20）

プラスチックを傷めないスプレー式シャワートイレ専用洗剤です。シュッと吹きかけて、ただふき取るだけ。脱臭剤配合で便器にもご使用になれます。（☞ 24 ページ）



■取替え用脱臭カートリッジ（品番：CWA-29）

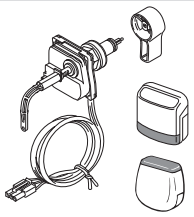
脱臭カートリッジの寿命は、約 7 年です。ニオイが気になりだしたら交換してください。
（☞ 28 ページ）



■流せるもん（品番：CWA-66 または CWA-67A）

便座から立ち上るだけで便器洗浄を行います。もちろんリモコンでも操作できます。

※ 便器によっては、取付けできない場合もあります。



■シートカバーと便フタカバーは、同梱の「水まわりグッズ通販カタログ」をご参照ください。

シートカバーや便フタカバーは、当社のアクセサリーからお選びください。
他社製品や不適切なカバーによっては、便座が立たなかったり、着座センサーが入り放しになったりして、不具合が生じる場合があります。

別売品の購入方法

●直接、購入される場合

お求めのシャワートイレ取扱店、またはお近くの INAX ショールームでお求めください。

●宅配サービスを利用される場合

お近くの㈱ INAX メンテナンスにご連絡ください。
宅配サービスにてお届けします。（宅配サービスの場合は送料が別途必要となります。）

ご注文フリーダイヤル：0120-00-1794
受付時間　　9：00 ～ 17：00（夏期、年末年始の休みは除く）

●インターネットを利用される場合

下記ホームページアドレスにアクセスし、商品をお求めください。
ホームページアドレス　http://www.inax.co.jp/maintenance/（24 時間受付）

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。

* 品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名及び品番

シャワートイレ PASSO（品番：CW-E　　）

保証期間	取付日
取付日より 2 ヶ年	年　　月　　日

お客さま　おなまえ　　様

おところ　　おでんわ　（　　）　－

無効

無料修理規定（保証規定）

1.「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2. 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3. ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合、本書内、アフターサービスのページに掲載の、（株）INAX メンテナンスにご相談ください。
4. 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。
   （1）一般家庭用以外（車両・船舶及び使用頻度が高い業務用など）に使用した場合の故障及び損傷
   （2）施工説明書に指示する方法以外の工事または取付が原因で生じた故障及び損傷
   （3）不当な使用や不注意・過失で生じた故障及び損傷
   （4）掃除・維持管理上の不備による汚れ・さびなどによる不具合
   （5）不当な修理・改造や取付後の移動を行ったことが原因で生じた故障及び損傷
   （6）建物の柱・壁・床の変形（強度不足、ゆがみ）など、製品以外の不具合で生じた故障及び損傷
   （7）消耗部品（パッキン・電池・電球など）の劣化
   （8）公害やガス害（硫化水素ガスなど）、気象条件及び環境条件による現象（凍害・塩害・結露・染みだし・かびなど）、異常水圧・異常電磁波による故障及び損傷
   （9）小動物（ねずみ・昆虫など）の行為によって生じた故障及び損傷
   （10）火災・地震・水害・落雷、その他の天災地変による故障及び損傷
   （11）戦争・暴動などの破壊行為または犯罪などの不法行為によって生じた故障及び損傷
   （12）温泉水・中水・井戸水などの水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことによって生じた故障及び損傷
   （13）異物の配管内流入・水あか固着・排水の詰まりによって生じた故障及び損傷
   （14）指定外の電源（電圧・周波数）によって生じた故障及び損傷
   （15）保証書の期限切れ、または提示がない場合
   （16）本書に品番・取付日・お客さまのお名まえ・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または本書に掲載の、お客さま相談センターにお問い合わせください。修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後 6 ヶ年です。

年	月	日	損傷と処置	サービス担当者

取扱店（店名・住所・TEL）

株式会社 INAX

愛知県常滑市鯉江本町　〒 479-8585
TEL:(0569)35-2700 (代表)
ホームページアドレス　http://www.inax.co.jp/

GCW-1140(08083)